

管理番号	2017-0647
特定歴史公文書等の名称	ワインバーガー米国防長官訪日(昭和 61 年 4 月)
利用決定日	平成 29 年    月    日

1. この特定歴史公文書等に所収される文書のうち、次のリストに掲げるものは、外務省外交史料館利用等規則第 11 条第 1 項第 1 号の規定により、その一部分の利用が制限されています。

文書名	利用を制限する理由
「ワインバーガー米国防長官の●●の当否について」	利用等規則第 11 条第 1 項第 1 号ハ

外務省大臣官房総務課  
外交史料館長

宛先 031122号007公館宛

暗・略

昭和 6 年 月 日 10 時 11 分 19 秒 受付

電 信 案

極 秘  
無 期 限  
母 の 内  
号

秘書官  
事務次官  
事務次官  
財務審議官  
外務審議官  
官 房 長

主管  
北米局長  
審 議 官  
安全保障課長

※発電係 1 同奉 2  
起 案  
昭和 61 年 4 月 8 日  
起案者 重越 電話番号 2479

総務課長  
在 米

2 条約局長  
審 議 官  
3 条約課長

北東アジア課長  
中近東第一課長  
南アジア第二課長

大使  
総領事

あて

外務大臣 発

件名

林氏のワインバーガー国防長官との会談

主管・文書記号  
伏半保

※電番  
第2515号

大至急 (至急)  
普通 (優先処理)

パターン・コード

Q44DAA

転送・転報

※転電番号

大至急 (至急)  
普通 (優先処理)  
合第5716号  
大使 総領事あて

大至急 (至急)  
普通 (優先処理)

在 韓国、地

連 英独仏

信電伏半保 第2389号に依り

本大臣は、5日、当地来訪中のワインバーガー米国防長官と約1時間におたひ会談を行たところ、国防情勢に関する部分概要次のとおり。(日米安保関連、対米)

(※印欄内は電信課記入)

(昭和六〇・十一・一改正)

GB-1



武器技術供子、S D I, I N F に関する部分  
 については別電。) (同席：先方、マンスワー  
 ルに大使、アーミテージ<sup>(国防)</sup>次官補、シムズ<sup>(国防)</sup>次官  
 補、ジョーンズ<sup>(国防)</sup>長官補佐官、~~シ~~シャーマン國務  
 次官補代理他；当方、津井外務、藤井次長局  
 長、小和田条約局長、岡本安保評長、~~加~~加藤  
 条約評長他。)

## 韓国

① 本大臣より、韓国・朝鮮半島情勢につき  
 外務省の見方を問うたのに対し、先方は概要  
 だけとおり答えた。

② 米韓安保定期協議は成功に終わった。韓  
 国側の最大の懸念は北鮮の軍力増大にあ  
 り、その多くはソ連の支援の下になされて  
 いる。(ソ連自身も、朝鮮半島周辺で軍備  
 増強。)北鮮はDMZの近くに軍を展開して  
 おり、韓国にと、これは有事の際の対応の時  
 間が極めて短くなる、という。更に北鮮は航  
 空・レーダー関係の近代装備をソ連から入  
 手しており、これにより、実質的に韓国周  
 辺全域をパトロールできるものと考えられ  
 ている。



④韓国は、現在、アジア競技大会及びオリ  
ンピックの開催に努力を傾注しているが、  
北鮮は、これを種々の方法により妨害する  
ことを狙っている。妨害工作の中には、南  
北共済提議・競技の一部を北鮮で行うとの  
提議も含まれているが、韓国は拒否してい  
る。これらの競技大会は同国の発展の象徴  
であり、米国としても、北鮮のテロ等によ  
る妨害を措止するため支援を措かない旨  
約束している。なお、今次訪韓に際して、  
自分らは、韓国が望む限り、同国に米軍を駐  
留させる旨再確認した。

⑤北鮮は干渉スクリプトを理由に南北共  
済を中断したが、同提議が今月終了した後  
北鮮が共済を再開するか否かを判断を許さない

韓国としては、家族交流・オリンピックの  
成功をキコに南北対話を再開し、もって北  
からの脅威を回避したいと考えている。但  
し、韓国としても自らの弱味を見せるよう  
な形での妥協は行わないだろう。自分から  
金大統領に対し南北対話は再開すると思っ  
たと尋ねた際も同大統領は、否と答えてつ  
つ、対話の継続を希求している旨を述べてい  
た。

(二) フレス関係者には、北国と韓国の類似性  
を指摘する向きもあるが、自分は、次のよ  
うな点で、韓国が北のように不安定な状態  
にはないと考えている。

(1) 強い経済。

(2) 訓練士、装備も充実し、近代化的軍隊。



(iii) 首都から26キロの地点に8個師団の北  
鮮軍が存在するという脅威による国民の  
統一。

(iv) 金大統領自身が、1988年に引退し、ス  
ムーズな政权交替が行われるよう後見的  
指導に徹するとしていふように、政权  
交替が平和的に行われること。

(v) これに対し、本大臣より、北韓間の比較の  
点については、自分も貴長官と同感である。  
南北対話・オリエンテーションについては、自分と  
してもできることは協力したい、と述べた。

2. リピート

本大臣より、自分はアキノ政権の安定を念  
じており、北経済の活性化を願っている。  
(米国とともに)  
日本としても経済再建については出来る限り

GB-3

知っており、そのことについては貴長官が  
訪比された際、アキノ大統領にも  
伝えていた旨

協力したいと述べ、更に、心配なのはNP  
Aが勢力を伸張するのではないかと  
いうことであるが、これについては比政府自身及び  
に米国の努力が期待されているところ、貴  
長官の意見を伺いたい、と問うたところ、ワ  
長官は次のとおり述べた。

日本が経済面で援助を行うとの意見を貴大  
臣及び総理から伺った大変うれしい。  
ルソン、ミンダナオ等多くの島で蜂起が起  
きている。  
マルコスはこの放置してきた。  
のは事実であるが、マルコスは何も知らされ  
ていなかったか、あるいは知りつつ何も出来  
なかったかのいずれかであろう。アキノ大統  
領は、これに対し積極的に対応を行う意志  
を有しており、このため、国軍の強化を図る  
とともに、腐敗を一掃するため、人事刷新



ラモス将軍にたいし、

この関連では エンリ国防相は 必ずしも国軍に対する掌握力が十分でないと思われる。

を図るべく将官クラスへの退役を勧めている。  
(これは)十分であった国軍の態勢を建て直すためにも

米としても国軍改革の進展に関心を寄せている。自分としては、軍事面での改善が成功すれば、経済的にも打開の途が開かれるのでは  
(アキ)大統領は、暫定憲法を公布し、政教分離の原則に全力を尽くしているが、  
いいかと思っている。いずれにせよ、これまでマルコス打倒で一致していた勢力が、今後

割れていく可能性もあり、今後数ヶ月間はア  
(したがって、この時期にこそ)  
キノ政権にとり極めて重要であろう。日米両  
(協力して) 国が比の友人として支援を行うことが必要であると考える。

(大統領) 協 存続する1991年まで  
アキノ政権は現行暫定憲法の条件  
(が)その後、寛大協定の条件  
では米軍の比駐留を認めると言っている。  
現時点では、米としてもアキ夫人に便する選択肢はないとみられる。  
これは米にとっては極めて重要なことである。  
(アキ)大統領の政教分離を強化すること

3. リビア

(我が国としては、米軍がシドラ湾においてした行動を理解しが前置の  
本大臣より問に対して) リビアは自らテロ

を行い、テロリストを訓練し輸出している。

シドラ湾の事件は、~~航~~海<sup>航</sup>の自由の問題である。

リビアは領海を120マイルの幅で設定する旨

主張しているが、これは<sup>受け入れられ</sup>~~容赦~~できない。我々

は「死の線」の内側を航行することにより、  
~~を受け入れない~~<sup>意思を明示し</sup>

この不当な主張に~~拒絶~~<sup>反対</sup>しているのである。同

様なことは以前にも数回行ったが、今回はリ

ビア側は我々に向ってミサイルを発射し、更

に~~警備艇~~<sup>警備艇</sup>が誘導ミサイルを発射する態勢に入

ったため、我々に対する敵対行為と考えた次第である。

結局、~~拒絶~~<sup>拒絶</sup>に転じた。

(米、英、独、仏)

(3)

に、米、英、独、仏、国際テロに付き負



午後8時以降受付

宛先 031123号001公館宛

昭和61年4月10日 11時4分11秒 受付

暗・略

極 秘  
無 期 限  
部 内 号

電 信 案

大 臣  
秘書官  
事務次官  
事務次官  
外務審議官  
外務審議官  
官 房 長

主管  
北米局長  
審 議 官  
安全保障課長

※発電係  
起 案  
昭和 61 年 4 月 8 日  
起案者  
電話番号  
2479

協議元  
総務課長

条約局長  
審 議 官

条約課長  
軍縮課長

在 米 大使・総領事 あて 外務大臣 発

件名  
米国のワインバーガー閣僚との会談

主管・文書記号 ※電番 大至急 (至急) パターン・コード  
米外務省 第2516号 普通 (優先処理)

転電・転送・転報 ※転電番号 大至急 至急  
在 大 使・総領事あて 普通 (優先処理)

[限定配布]  
佐々木保 次 2389号に内し

本大使のワインバーガー閣僚との会談の件、INF  
に因り部分次のとおり。



(注意) 1枚目は、機械で処理しますので、折り曲げない様願います。

(※印欄内は電信課記入)

(昭和六〇・十一・一改正)

如く ENF

本大臣より、先般の ENF に関する半の提  
案については、グローバル・アプローチをと  
るべしとの我が国の希望に考慮を払、二いた  
だき感謝してゐる旨述べたところ、ア長官は  
次のとおり述べた。

SS-20 は、極めて短時間のうちに移動が  
可能であり、やういふ形の車にのみか西にあ  
るかといふに議論は意味がない。それはどこ  
にありうと撤去せよべきであり、半国は、  
ENF については如何なる解決策となるうと  
も、グローバル・アプローチがとられべき  
であるとの国、意思を有してゐる。

(13)



暗·略

秘 極  
無 期 限

蘇州內

電 信 案

※ 電 係

2

## 起案

昭和 61 年 4 月 8 日

起案者

電話番号

2479

主管

北米局長

2. 審議官

① 安全保障課長

條約局長

7. 審議官

② 条約課長

大使  
総領事

外務大臣 癸

姓名	性别	年龄	职业	住址	联系电话	备注
张三	男	35	教师	北京市海淀区中关村大街100号	13800138000	
李四	女	28	医生	北京市朝阳区建国路123号	13900139000	
王五	男	45	工程师	上海市浦东新区世纪大道100号	13600136000	
赵六	女	30	会计	广州市天河区珠江新城123号	13500135000	
孙七	男	50	农民	山东省临沂市兰陵县123456号	13400134000	
周八	女	25	学生	浙江省杭州市西湖区12345号	13300133000	
吴九	男	38	公务员	河南省郑州市金水区1234567号	13200132000	
郑十	女	42	律师	广东省深圳市福田区12345678号	13100131000	
陈十一	男	22	程序员	四川省成都市高新区123456789号	13000130000	
林十二	女	33	销售经理	辽宁省沈阳市和平区1234567890号	12900129000	
张十三	男	48	作家	湖北省武汉市武昌区12345678901号	12800128000	
周十四	女	27	设计师	湖南省长沙市岳麓区123456789012号	12700127000	
吴十五	男	36	厨师	安徽省合肥市蜀山区1234567890123号	12600126000	
郑十六	女	41	护士	福建省福州市鼓楼区12345678901234号	12500125000	
陈十七	男	29	记者	江西省南昌市东湖区123456789012345号	12400124000	
林十八	女	34	翻译	贵州省贵阳市南明区1234567890123456号	12300123000	
张十九	男	43	画家	云南省昆明市西山区12345678901234567号	12200122000	
周二十	女	26	模特	陕西省西安市雁塔区123456789012345678号	12100121000	
吴二十一	男	37	科学家	甘肃省兰州市城关区1234567890123456789号	12000120000	
郑二十二	女	44	企业家	青海省西宁市城东区12345678901234567890号	11900119000	
陈二十三	男	23	运动员	宁夏回族自治区银川市金凤区123456789012345678901号	11800118000	
林二十四	女	31	歌手	新疆维吾尔自治区乌鲁木齐市天山区1234567890123456789012号	11700117000	
张二十五	男	46	教授	内蒙古自治区呼和浩特市赛罕区12345678901234567890123号	11600116000	
周二十六	女	24	空姐	广西壮族自治区南宁市青秀区123456789012345678901234号	11500115000	
吴二十七	男	39	建筑师	海南省海口市琼山区1234567890123456789012345号	11400114000	
郑二十八	女	47	心理咨询师	四川省成都市武侯区12345678901234567890123456号	11300113000	
陈二十九	男	21	电竞选手	广东省广州市天河区123456789012345678901234567号	11200112000	
林三十	女	32	瑜伽教练	浙江省杭州市西湖区1234567890123456789012345678号	11100111000	
张三十一	男	49	园艺师	安徽省合肥市蜀山区12345678901234567890123456789号	11000110000	
周三十二	女	28	舞蹈演员	福建省福州市鼓楼区123456789012345678901234567890号	10900109000	
吴三十三	男	35	摄影师	江西省南昌市东湖区1234567890123456789012345678901号	10800108000	
郑三十四	女	40	营养师	贵州省贵阳市南明区12345678901234567890123456789012号	10700107000	
陈三十五	男	25	电竞解说	云南省昆明市西山区123456789012345678901234567890123号	10600106000	
林三十六	女	33	瑜伽教练	陕西省西安市雁塔区1234567890123456789012345678901234号	10500105000	
张三十七	男	48	教授	甘肃省兰州市城关区123456789012345678901234567890123号	10400104000	
周三十八	女	27	模特	青海省西宁市城东区1234567890123456789012345678901234号	10300103000	
吴三十九	男	36	科学家	宁夏回族自治区银川市金凤区12345678901234567890123456789012345号	10200102000	
郑四十	女	41	企业家	新疆维吾尔自治区乌鲁木齐市天山区123456789012345678901234567890123456号	10100101000	
陈四十一	男	22	运动员	内蒙古自治区呼和浩特市赛罕区1234567890123456789012345678901234567号	10000100000	
林四十二	女	31	歌手	广西壮族自治区南宁市青秀区12345678901234567890123456789012345678号	9900099000	
张四十三	男	46	建筑师	海南省海口市琼山区1234567890123456789012345678901234567890号	9800098000	
周四十四	女	24	空姐	四川省成都市武侯区123456789012345678901234567890123456789012号	9700097000	
吴四十五	男	39	画家	广东省广州市天河区12345678901234567890123456789012345678901234号	9600096000	
郑四十六	女	47	心理咨询师	浙江省杭州市西湖区123456789012345678901		

秋田のワインバーガー国際長官との会議

主管・文書記号

\*電番

大至急 (至急)

パターン・コード

北半保

第2518号

普通 (優先処理)

Q 44 CAA

電、郵、送、報

※ 転電番号

大至急 至急

在

大使・総領事あて

普通 (優先処理)

往電北半保才 2349 号 1-101

本大会のワルンバーガー会長との会議の件、同半生保肉

連部は概要次のとおり。

Be 对米武器提供信息

(※印欄内は電信課記入)

(昭和六〇・十一・一改正)

03112511 至急 BEI

漢自暗

GB-1

外務省

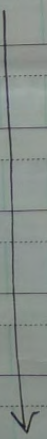
外務省

(注意) 1枚目は、機械で処理しますので、折り曲げない様願います。

3. 日米安保関連

1. 本大臣より、1月にお会いして以来、池子、NL P等について努力を払ったが、現在までのところはかばかしい成果は挙げ、ない。今後とも政府として全力を尽す所存であると述べたところ、ワ長官は、池子、NL Pについては米側としても重要と考えていり、日本側の努力を評価する、早期に解決されることを望む旨述べた。

田





4. 武器技術供子

外務大臣より、武器技術供子牙1号が実現に

出づき喜ばしいと述べたところ、ワ長官は、  
(日本の優れた武器技術が米国に移転されることは

武器技術の両方通行は大切であり、日米双方

に有用である旨述べた。

(3)

日米の抑止力強化のためにも極めて

午後8時以前

極 秘  
無 期 限  
特 許 内 務 省

0311249001公館宛

留・略

電 信 案

※発電係

起 案  
昭和 61 年 4 月 8 日

起案者 電話番号  
重越 2479

主管  
北米局長

1 審 議 官

① 安全保障課長

2 条約局長

1 審 議 官

② 条約課長

大使  
総領事

あて

外務大臣 発

秋臣のワイバーガー国防長官との会談

主管・文書記号

\*電番

大至急

(至急)

パターン・コード

秋臣長

第2517号

普通

(優先処理)

②

転電・転送・転報

\*転電番号

大至急

至急

普通

(優先処理)

大使・総領事あて

[既定配布]

佐々木保平(38)号に開し。

本大使のワイバーガー長官との会談の39 SDZに

内務省分次のとおり。



03112495

至急

BEI

外務省

漢 白暗

(注意) 1枚目は、機械で処理しますので、折り曲げない様願います。

(※印欄内は電信課記入)

(昭和六〇・十一・一改正)

GB-1



5. S D I.

本大臣より、S D I 官民合同調査団受入  
 に対し謝意を表明しつつ、調査団の報告  
 を受けた関係レベルでの会合を持ち、S D I 研  
 究参加について話し合うつもりである旨述べ  
 たところ、ワ長官は、次のとおり述べた。

S D I 調査団の訪米は歓迎する。日本側の  
 検討を<sup>援助し</sup>~~助け~~たいと考えしており、日本側で必要  
 とする情報はすべて提供する用意がある。日  
 本の偉大な才能、技術が研究計画に注入され  
 るれば、研究が成功する可能性はそれだけ高ま  
 る。参加の態様については、政府内で枠組  
 が作られるべきでありの利益はあろうが、私企  
 業の契約ベースの参加でも良いと思っている。



管理番号	2017-1001
特定歴史公文書等の名称	日米・日加外相会談
利用決定日	平成 31 年 3 月 11 日

1. この特定歴史公文書等に所収される文書のうち、次のリストに掲げる電信類は、外務省外交史料館利用等規則第 11 条第 1 項第 1 号ハの規定により、その一部分の利用が制限されています。

文書名	利用を制限する理由
「本大臣・マンズフィールド大使会談（日米関係全般）」等 98 文書	利用等規則第 11 条第 1 項第 1 号ハ

2. この特定歴史公文書等に所収される文書のうち、次のリストに掲げるものは、外務省外交史料館利用等規則第 11 条第 1 項第 1 号の規定により、その一部分の利用が制限されています。

文書名	利用を制限する理由
「日加外相会談用資料」	利用等規則第 11 条第 1 項第 1 号イ
「国連総会（レーガン大統領による主要国ブリーフィング）（その 2）」	利用等規則第 11 条第 1 項第 1 号イ

外務省大臣官房総務課  
外交史料館長

901-  
100655





極秘

主管課緊急処理用

総番号 R131451

主管

月 23日

国連発

61年 09月 24日

本省発着

北米局長

外務大臣殿

菊地大使

国連総会（日米外相会談）

第2723号 極秘 大至急

（限定配布）

1. 23日、クラナリ大臣は米側しゆくしやにシュルツ国務長官を訪れ、朝食を共にしつ1時間半会談されたところ、概要は別電の通り。会談は多くの問題をカヴァーした極めて実りあるもので、じょう談も交えつつ、実質問題につきじゅう実したやりとりが行なわれた。

2. 双方出席者は、先方がシュルツ長官、アマコスト、ウオリス両次官、ウォルターズ国連大使、シグール・アジア太平洋担当次官補、クラーク同次官補代理、カルブ報道官、イイダ通訳、わが方がクラナリ大臣、マツナガ大使、本使、ヤナイ外審、フジイ北米局長、ワタナベ経済局長、トウゴウ秘書官、在米大ニシミヤ書記官（通訳）。

3. なお、第1回のクラナリ・シュルツ会談ということもあり、冒頭かるい話題を含め、若干の言ばが交わされたところ、ポイントのみ次の通り。

（1）シュルツ長官より、日米関係は計り知れない重要性があり、新しい外務大臣とも早々にお目にかかれてよろこばしい。前任者の安倍大臣とは5009回も会談した

09月24日



が、多く会うことはよいこととの発言あり。右に対し、クラナリ大臣よりは、安倍前大臣とは同期の間がらのふるい友人で、「シュ」長官のことはかねがねうかがっており、今随分むかしからの友人にお目にかかっているような気がする」と述べられた。

(2) クラナリ大臣より、就任早々、プンタ・デル・エステ (PDE) に出張するなど多ほうを極めているが、自分 (大臣) は実は新入生のようなもので、シュルツ教授の前で入試を受けているような気持だ。心配して、外務省より保護者が多数ついてきている。むす子がMITに留学したこともあり、ボストンに知きが多く、また、ボストンは何回も訪れている。ただ、うつくしいこうようを見る機会にだけは恵まれず、ぜひ見たいと思っているうんぬんと発言された。

(3) クラナリ大臣の今次御出張日程に話題が及び、大臣より、国会開会中の外務大臣出張には野党がいろいろとほえることもあり、一時はPDEより一たん帰国し、1日だけ国会に出てからニューヨークに参る話もあつたが、幸いPDEより直接これることとなつた。(「シュ」長官より、「ほえている内はよいが、かまれたら困るでしょう」と述べたのに対し) 米議会はほえるだけでなく、実際にかむこともあるが、大統領の方もいいムチをもっている点日本と異なる。しかし、なにせ強いぬなので扱いが難しかろうと察すると発言された。右に対しては、「シュ」長官は「われわれの方もかみ返す」と応じた。

#### 4. 別電の項目以下の通り。

##### 別電1 経済関係

##### 2 石たん



- 3 イスラエルとの経済関係
- 4 日ソ関係等
- 5 南太平洋
- 6 SDI
- 7 比
- 8 韓国
- 9 軍縮
- 10 ダニロフ事件
- 11 中国
- 12 国連改革
- 13 むすび

別電と共に米に転電した。

お見込みにより、各別電を関係公館に転電願いたい。(了)



主管課緊急処理用

極秘

大政外外機官  
務務典房  
次次  
臣官官審審長長

大外査  
察緊  
使研審

對文會厚情オ  
信察人電在儀警史

外 審報内  
報 際外  
官 文長 一二

参一二旅査移

審地中東  
参北東西  
一

審一二保

審一二

参西ソ洋  
一  
西東  
一

審一二アア  
一二

審途途  
経エ国  
二ネ

審海 審準

審政経開無

審機技有理

審条協規

審政経人

審軍社

審原

審情析調

審金安

総番号 R131495

主管

月 23日

国連発

61年 09月 24日

本省着

北米局長

外務大臣殿

菊地大使

国連総会（日米外相会談一経済関係）

第2735号 極秘 大至急

（限定配布）

往電第2723号別電1.

1. シュルツ長官より次の発言があつた。

（1）日米両国は、共に世界中で保護主義と闘っている。その間両国間で数多くの協  
議、交渉、論争、そして協力が行なわれているが、要するにわれわれの目的は保護主  
義にたい抗することである。米国内にあつては、大統領が保護主義との闘いを力強く  
引つ張っているが、国際場りにおいては、日本政府と共に新ラウンドたん生に懸命の  
努力をしてきた。新ラウンド開始はわれわれの保護主義との闘いに大きなこうげんと  
なろう。

（2）貴大臣が就任早々プンタ・デル・エステ（PDE）の大会議に臨まれ、成功を  
収めてこられたことにしゆく意を述べるとともに、PDEの評価についてうかがいた  
い。

2. これに対しクラナリ大臣より、PDEではサービス利益の均こう（BOB）等が  
主なポイントであつたとしつつ、以下の発言をされた。

09月24日



(1) BOBのはい景にはいわゆる「日本問題」があり、大きな貿易不均こうの中にあつては予想していた問題ではある。ただ、われわれとしては、バイで議論するならまだしも、グローバルかつ多角的貿易体制のルールを規定する宣言においてこれに言及することはどうしてもなじまれないとしててい抗した訳である。

(2) サービスについては、米代表部、殊にヤイター代表が活やくされた。この問題の根ていには途上国の不安がある。LDCにおけるサービス産業はまだまだであるところ、サービスでうまく行かなければモノの分野で報復されかねないとの不安である。印、ブラジルははつきりそうであつたが、他の多くの途上国も心の中では同様の不安をいだいていたと思う。これは理解できることである。しかし、途上国にしても、いずれは産業の転換、サービス産業の発達となつていく訳で、あたかもコンピューターに次第にソフトが組み込まれてきた如く、工業化そしてサービス化は避けられない。そこで自分（大臣）は、いつまでも反対しているだけでは進歩はないと言つて、途上国を懸命に説得した。サービスの決着は大体あのくらいがいいところであろう。

(3) 農業については米欧等先進国間の対立があり、途上国もからんで複雑な様相を呈したが、妥協が図られて、いいとこにまとまつた。

(4) 以上、とにかくも新ラウンドのスタートを切ることができたことは意義深い。あえて採点すれば、60-70点で合格点と思う。

(5) (十分満足できなかつたことは何か、との質問に) サービスで言えば、各国事情は異なるから、きめ細かい準備が必要であり、大会議でアミをかぶせるには多少無理があつた。交渉がスタートしてからは、具体的問題を研究しつつ、進めて行くべき



であろう。ただ、細かい点はともかく、保護主義は何人の利益にもならないとのコンセンサスが生まれたことは、PDEの最大の成果である。

3. 以上に対し、「シュ」長官は、有益な説明を多とすると述べるとともに、東京サミット宣言、特にその農業部分はPDE成功の一助となつた。日本はウルグアイ・ラウンドと言われたが、「東京に支援されたウルグアイ・ラウンド」ともよべようと発言した。

これに対し、クラナリ大臣は、ウルグアイ・ラウンドは自分の提しようしたよび方であるが、実は「ユルグアイ」か「ウルグアイ」かまよつた。しかし、途上国を味方につけ、懸命の努力をしたイグレスィアス外相にもけい意を表し、現地式に「ウルグアイ」とした経緯ありと説明され、これに対し「シュ」長官がキメ細かさにけい服すると述べ、更に同席のウォルターズ大使がウルグアイ人自身はラブラタがわの東方ということで自分達をオリエンタルとよんでいる旨ひろうする一まくもあつた。

4. 更にシュルツ長官より、新ラウンドについてもう一つ重要なことは、日米協力であり、これからNR中の数年にわたり様々な問題に直面しようが、日米の協力の形を確立することがわれわれの利益になろう。貴大臣御自身、新ラウンドに関心をもたれ、日本代表団を率いていかれたこと、また、今後ともそうされることはバランスのとれたアプローチという点でかん迎したく、今後とも貴大臣を含め、日米協力を維持して行きたいと発言した。

5. これに対し、クラナリ大臣は、PDEではヤイター代表と緊密な連携を保つたが、一つだけ見解が一致しなかつたことがあり、また、PDEでお目にかかつた機会に



一つお願いしたことがあるとされ、以下を述べられた。

(1) ヤイター代表と一致しなかつたことは、まとまらなかつた場合に投票に訴えるか否かであつた。自分(大臣)は投票には反対した。特定の問題で勝つても、ひとたび投票を行なえば他の問題で敗れることもありうるというように投票は「もろはのやいば」だからである。(「シュ」長官より日本のコンセンサス重視はかねがね承知している旨発言)。

(2) お願いした方の話は、ヤイター代表の所管であるのでテーク・ノートしていただくだけで十分だが、コメの件である。業界より301条提訴がなされたが、コメは政治的に難しく、さわげば失うもの大である旨申し上げてあるので御報告しておく。

(シュルツ長官より、「その件は承知していない訳ではない」(NOT UNAWARE OF THAT PROBLEM) とのコメントあり)。

6. 次いで、日米経済関係に話題が移り、クラナリ大臣より、貴長官と自分(大臣)は日米経済関係全体を総らんする立場にあるので、緊密に連絡を取り合い、何でも率直に話せるようにしていきたいと述べられたのに対し、「シュ」長官はこれをかん迎するとともに、自分(長官)としても、時間と労をおしまないと述べた。

7. 次にクラナリ大臣より次の発言をされた。

(1) 昨日の大統領国連総会演説にもあらわれているが、レーガン大統領が保護主義と闘われていることは何ものにも替え難い。ひとたび保護主義がまん延すれば世界はブロック経済化、ひいては世界経済の破めつを招来することは大戦前やの経験の教える通りである。議会はどこでも選挙民との関係があり、いろいろなことを言うが、米



議会に対しては大統領、貴長官等が直接電話で議員を説得されていることをよく承知している。

(2) わが国はきよ額の貿易不均こう問題を何とか解決すべきであると考え、中ソ根総理を先頭にあらゆる努力を傾注している。総理自らが、経済構造調整本部長になられたのもこうした考えによる。構造調整について更にいえば、自分（大臣）の地元にもたん鉱があるが、わが国は石たん生産の大はば縮少へ向けて困難にもかかわらず種々努力を行つているところである。構造調整は言うは易くして実行は簡単ではなく、その実現には工夫とチェが要りのであり、総理を先頭にして種々検討している次第である。世界経済は、N I C S も含め、産業構造の変化の過程でまさつを生じるが、今、目に見える形でお互いに努力し、保護主義の爆発を防がねばならない。

(3) わが国としても、いろいろ努力をしている。残念ながら効果があらわれるには今少し時間がかかろうが、円ドル・レートも240円から150円台になつてきたし、内需拡大にしても、かつての機関車論はともかく、くるしい財政事情の下で事業規模3.6兆円の対策を打ち出した。

(4) マクロ面とならびミクロの問題についても着実な解決の努力を行つていく。関西国際空港については、ボールドリッジ長官訪日等の経緯からセミナー開催の運びとなつたが、米企業多数の参加を得て具体的な成果を期待したい。タバコについては、大蔵大臣の所管であるが、双方の努力による解決が必要である。

8. 以上を受けて、シュルツ長官は次の通り発言した。

(1) 諸案件に対する貴大臣の関心をかん迎する。特に総理以下が思慮深く前川レポ



ート実行を追求している点を評価したい。同レポートは非常に意義深い、重要な文書であり、実行のあかつきには相当の効果があろう。同時に、その実現を可能とする為に注意深く進む必要があることも自分としては承知している。内需拡大についてはその努力を評価し、効果のあることを期待する。

(2) 石たんに関する御発言も注意深く聞いた。地元にたん鉱をかかえつつも、構造調整を推進せんとする貴大臣の純粋なリーダーシップの発露と思う。心からけい意を表したい。

(3) 関西国際空港に関するコメントもかん迎する。具体的成果につながるセミナーを期待したい。

(4) なお、米の件については、機微なことはよく意識しておく。提訴は法律に従って検討されることとなるが、われわれは本件の機微なることは十分承知している。

米、ジュ府代、EC代に転電した。(了)



主管課緊急処理用

極秘

大外務省  
次官  
大臣官舎審議長

大外務省  
審議官

総務課文書係  
電報係

審議官  
審議官  
審議官

審議官

審議官  
審議官

審議官

審議官

審議官

審議官

審議官

審議官

審議官

審議官

審議官

審議官

審議官

審議官

審議官

審議官

審議官

審議官

審議官

審議官

審議官

審議官

審議官

審議官

審議官

総番号 R131461

月 23日

61年 09月 24日

国連  
本省  
発着

主管

米局長

外務大臣殿

菊地大使

国連総会（日米外相会談一石たん）

第2736号 極秘 大至急

（限定配布）

往電第2723号別電2

1. 石たんに関連して、クラナリ大臣より更に次の通り発言された（注：大臣より厳に對外引用を差しひかえるべしとの厳命あり、米側とも打合わせ済。）

石たんは、最後には日本経済からほとんどなくなるとの方向で整理している。このことは表には出せないが当面今の半分の1000万トンということだが、将来はなくなるのであり、どうやってすすめていくか種々工夫している。自分の長サキの選挙区の三ビシタカシマたん鉱は最も歴史のふるいたん鉱で、従業員1500人、住民6400人がいる島にあるが、この島はゴーストタウンになる。しかし、いろいろなことを言うのなら、まず自分のところからやるべきと考え、覚悟を決めてまず先にタカシマに手をつけることとしており、恐らく近くDISAPPEARすることとなる。この一年だれから頼まれもせず、ゴースト・タウンとなるこの島をどうするか自分なりに工夫してきた。自分（大臣）がこの話しをあえてしたのは、構造調整がなみたいていのことではないことを示したかったからである。

09月24日



極秘

前川レポートはやろうと思えば3時間で書けるかもしれない。しかし、これを実行していくには工夫も知恵も要るのである。

2. 以上に対しシュルツ長官は別電1. の発言に加え自分のやらないことは他人に求めず、他人に求めることは自ら率先してやるとの真のリーダーシップに心からけい意を表するものであると述べた。

米に転電した。(了)



北米1

極秘

主管課緊急処理用

☐☐☐

総番号 R131448

主管

月 23日

国 連 発

61年 09月 24日

本 省 着

北米局長

外務大臣殿

菊地大使

国連総会（日米外相会談－イスラエルとの経済関係）

第2724号 極秘 大至急

（限定配布）

往電第2723号別電3.

1. シュルツ長官より、日本政府がイスラエルとの通商関係につき企業をエンカレッジしてくれていることを多とすると述べた。
  2. 右に対してクラナリ大臣より、本件はアラブとの関係があり、今正確なお答えはできないが、自分としても重大な関心を有しており、じよじよにすすめていきたい。もう少し自信のあるお話しができるようになったら、マツナガ大使を通じて具体的にお話ししてみたいと述べられた。（なお、本件はプレス発表からふせておいたので念の為）
- 米、イスラエルに転電した。（了）

09月24日



北米1

主管課緊急処理用

極秘

総番号 R131449

主管

月 23日

国連

61年 09月 24日

本省

北米局長

外務大臣殿

菊地大使

国連総会（日米外相会談一日ソ関係等）

第2725号 極秘 大至急

（限定配布）

往電第2723号別電4.

クラナリ大臣より以下の通り発言された。

1. ゴルバチョフ訪日は今年末か明年1月を提案しているところ、明日シエヴァルナ  
ッゼ・ソ連外相と会談する。中ソ根総理とも完全に一致した方針であるが、日ソ関係  
の取扱いに2つの原則がある。第1に、西側の一員たることを絶対にわすれないこと  
、第2に絶対に<sup>針</sup>経分離しないこと、即ち北方領土問題の解決なくして、政府として  
経済分野における長期協力はしないということである。日本の経済人はいろいろ言う  
が、政府の方針は不動であり、何ら心配はいらない（シュルツ長官より「多とすると  
述べると共に、今後ともこうした問題については情報交換を行っていくことで一致」  
。
2. ウラジオ演説については、時間もないので一言だけ言うと、ソ連はアジア・太平  
洋への強い関心を示したが、広島会議や非核地帯への言及にあらわれているように、  
これは平和攻勢、プロバガンダである。率直にいわせていただければソ連の宣伝は残

09月24日



極秘

急ながら米国より上手である。

米、ソに転電した。(了)



[REDACTED]



110 米 /

極秘

主管課緊急処理用

☐☐☐

総番号 R131431

主管

月 23日

国 連 発

61年 09月 24日

本 省 発着

北米局長

外務大臣殿

菊地大使

国連総会（日米外相会談－SDI）

第2727号 極秘 大至急

（限定配布）

往電第2723号別電6.

1. クラナリ大臣よりSDIについては、研究参加の結論を出し、その旨官房長官談話を発表した。具体的に、双方納得のいくやり方ですすめたいと述べられ、あわせて、昨日の日中外相会談にて、ゴ中国外相が深い関心を表明した旨しようかいされた。

2. これに対し、シュルツ長官より、中ソ根総理にSDI決定を多とする旨伝言願いたいと述べた。

米、中に転電した。（了）

09月24日



極秘

主管課緊急処理用

総番号 R131453

主管

月 23日

国連発

61年 09月 24日

本省着

北米局長

外務大臣殿

菊地大使

国連総会（日米外相会談一比）

第2728号 極秘 大至急

（限定配布）

往電第2723号別電7.

1. クラナリ大臣より比については今後とも米国と協力して行きたいと述べられたのに対し、シュルツ長官は次の通り発言した。

われわれはアキノ政権の成功に大きな利害関係を有する（GREAT STAKE）。米国は、対比援助とならび、企業に対し比にもつと関心を持つようエンカレッジしている。アキノ訪米は大成功（TRIUMPHANT）である。日本の対比支援は大いに歓迎している。比の先行きの不確実性（UNCERTAINTY）を言う向きもあるが、確実に下降して行つたマルコス時代よりも、今の不確実性の方がベターである。比が必要とする今こそ支援すべきであり、みながバスに乗るのを待つべきでない（SHOULD NOT WAIT AND JOIN THE BANDWAGON）。

2. これに対しクラナリ大臣より、来たるアキノ訪日を借かん等を通じわが国の対比支援を一層明らかにする機会としたい旨述べたところ、「シュ」長官より、既に比は

09月24日



極秘

多大の債務をかかえており、借かんとは違つた形の支援を望みたいと述べた。これに  
対しては大臣より、わが国としては比の求めている「速効性」も重視していると述べ  
られた。

米、比に転電した。(了)

R131453-02



204-1

極秘

主管課緊急処理用

総番号 R131437

主管

月 23日

国連発

61年 09月 24日

本省着

北米局長

外務大臣殿

菊地大使

国連総会（日米外相会談－韓国）

第2729号 極秘 大至急

（限定配布）

往電第2723号別電8.

クラナリ大臣より、中ソ根総理がアジア大会開会式に参加されたところ、同訪問は成功であつた。日韓関係は良好である旨発言された。

米、韓国に転電した。（了）

大外務省  
次官  
秘書官  
審議官  
長官

大外務省  
次官  
秘書官  
審議官  
長官

対文会厚情  
審議官  
審議官  
審議官  
審議官

審議官  
審議官  
審議官  
審議官  
審議官

審議官  
審議官  
審議官  
審議官  
審議官

審議官  
審議官  
審議官  
審議官  
審議官

審議官  
審議官  
審議官  
審議官  
審議官

審議官  
審議官  
審議官  
審議官  
審議官

審議官  
審議官  
審議官  
審議官  
審議官

審議官  
審議官  
審議官  
審議官  
審議官

審議官  
審議官  
審議官  
審議官  
審議官

審議官  
審議官  
審議官  
審議官  
審議官

審議官  
審議官  
審議官  
審議官  
審議官

審議官  
審議官  
審議官  
審議官  
審議官

審議官  
審議官  
審議官  
審議官  
審議官

審議官  
審議官  
審議官  
審議官  
審議官

審議官  
審議官  
審議官  
審議官  
審議官

審議官  
審議官  
審議官  
審議官  
審議官

審議官  
審議官  
審議官  
審議官  
審議官

審議官  
審議官  
審議官  
審議官  
審議官

審議官  
審議官  
審議官  
審議官  
審議官

審議官  
審議官  
審議官  
審議官  
審議官



極秘

## Three rectangles are shown: a small square on the left, a medium rectangle in the middle, and a large rectangle on the right.

菊地 大使

09月24日

30		
----	--	--



極秘

主管課緊急処理用

総番号 R131456

主管

月 23日

国連発

61年 09月 24日

本省発着

北米局長

外務大臣殿

菊地大使

国連総会（日米外相会談－ダニロフ事件）

第2731号 極秘 大至急

（限定配布）

往電第2723号別電10.

クラナリ大臣より、ダニロフ事件について、大統領、貴長官の懸念を理解している。

これがいかに大事な問題かは自分としては認識しており、日本国民にもよく知らせて

行きたいと発言された。

米、ソに転電した。（了）

09月24日



主管課緊急処理用

極秘

総番号 R131412

月 23日

61年 09月 24日

国

連

発

本

省

発着

主管

北米局長

外務大臣殿

菊地大使

国連総会（日米外相会談—中国）

第2732号 極秘 大至急

（限定配布）

往電第2723号別電11.

クラナリ大臣より中国について話す時間がなくなつたが、中ソ関係は基本的には変わらないと思つている。今後も事務レベルを含め意見交換したいと述べられた。

米、中、ソに転電した。（了）

09月24日



北米1

主管課緊急処理用

極秘

外務省  
次官  
審議官  
長官

大外査  
使研審

対文会厚情オ  
信察人電在儀警史

外報  
文長  
審報内  
際外  
一二

審一二旅査移

審地中東  
審北東西  
一

審一二保

審一二

審西洋  
一  
西東  
一

審一二アア  
一二

次審経途国  
一  
審経エ国  
二  
一

審有 審準

審経開無

審経技有理

審経協規

審経人

審経社

審経

審経新調

審経金安

総番号 R131446

月 23日

61年 09月 24日

国連  
本省  
発着

主管

北米局長

外務大臣殿

菊地大使

国連総会（日米外相会談－国連改革）

第2733号 極秘 大至急

（限定配布）

往電第2723号別電12.

1. シュルツ長官より、国連改革のための信頼回復の重要な時期に差ししかかつており、日米協力を評価、維持したいと述べた。
  2. これに対しクラナリ大臣は、国連はソ連のプロパガンダ機関の様相を呈しているが、われわれも国連を活用し、また国連に対する信頼を回復していくべきである。改革とならび、分担金については米としてもあまり厳しい態度を取らないで欲しいと述べられた。
  3. これに対し、「シュ」長官は国連の注意をかん起し、警告を与えるためにやつたことであると述べ、同席の両国国連大使をふり向きつつ、改革が地についたものとなるよう協力することを約束すると述べた。
- 米に転電した。(了)

20

09月24日



極秘

主管課緊急処理用

総番号 R131458

主管

月 23日

国連発  
本省着

北米局長

61年 09月 24日

外務大臣殿

菊地大使

国連総会（日米外相会談一むすび）

第2734号 極秘 大至急

（限定配布）

往電第2723号別電13.

会談の締めくくりに際し、シュルツ長官は3点申し述べたいとして次の通り発言した

（関係別電と重複あるも御報告申し上げます）。

1. 中ソ根総理に、日本のSDI決定を多とする旨伝言願いたい（クラナリ大臣御了解）。
  2. 対比支援については、既に多大の債務があることもあり、借かんとは違った形の支援を望みたい（クラナリ大臣より、比の求めている「速効性」を重視している旨応答）。
  3. 本日は時間の制約にもかかわらず、多くをカヴァーした実りある会談であつた。安倍大臣とは共通の出張先での会談を含め、どこでもお会いすることとしていたが、貴大臣ともせ非ともかかる関係を維持して行きたい（クラナリ大臣より、全く同じ気持ちである旨応答された）。
- 米に転電した。（了）

09月24日



管理番号	2017-1002
特定歴史公文書等の名称	日米外相会談(倉成外相・シュルツ国務長官)
利用決定日	平成 31 年 3 月 11 日

1. この特定歴史公文書等に所収される文書のうち、次のリストに掲げる電信類は、外務省外交史料館利用等規則第 11 条第 1 項第 1 号ハの規定により、その一部分の利用が制限されています。

文書名	利用を制限する理由
駐米大使発外務大臣宛電信第 9096 号「日米外相会談」等 34 文書	利用等規則第 11 条第 1 項第 1 号ハ

外務省大臣官房総務課  
外交史料館長

901-  
100656





注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の内容に関する照会、要望等は特殊電配布班(TEL217)に連絡ありたい。

限定配布

電信写

本電の主管変更は記帳班(TEL2172)に連絡ありたい。

極秘

総番号 R174368

月 11日

61年 12月 11日

ベルギー

本省

主管

北米局長

発着

外務大臣殿

山本大使

日米外相会談

別電7は欠落

第869号 極秘 大至急

(限定配布)

11日、午前7時20分より8時35分まで本件外相会談がハイヤット・ホテルにて行なわれたところ、会談議題1. 冒頭発言及びイラン問題(別電1)、2. 日米防衛協力(別電2)、3. 日米経済関係(別電3)、4. フィリピン(別電4)、5. テロ(シリア)(別電5)、6. 総理の外国訪問(別電6)、7. 大臣の訪米(別電7)、8. 対ソ関係(別電8)、9. 大臣の大洋州訪問(別電9)につきその概要別電する。

(出席者: 先方、シュルツ長官、ウォリス次官、ブレーマー大使、ホームズ次官補、ソロモン政策企画部長、レドマン報道官、ハバード日本部長、わが方、本大臣、マツナガ大使、ヤナイ外審、西山欧ア局長、ワタナベ経済局長、東ゴウ秘書官、ヤマザキ北米一長、タナカ北米二長、ミヤモト軍縮課長他) (了)

外務省



注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。  
2. 本電の内容に関する照会、要望等は特殊電配布班(TEL2172)に連絡ありたい。

限定配布

電信写

総番号 R174412

月 11日

61年 12月 12日

ベルギー

本省

発着

主管

北米局長

外務大臣殿

山本大使

日米外相会談(冒頭発言及びイラン問題)

第874号 極秘 大至急

(限定配布)

往電第869号別電1.

1. 会談の冒頭大臣より、テレビでよく貴長官をおみかけしており、貴長官は身近かな存在である旨述べたのに対し、「シュ」長官より、自分としては必ずしも好んでテレビに出ている訳ではない旨コメントするとともに次のとおり述べた。

(1) 大統領としては、明解かつ決然たる方法(CLEAR AND DECISIVE WAY)でイランの件には対処している。大統領は直ちに措置をとり、独立したメカニズムを作り、不正の存否を調査させており、本件を独立した形で進行させている。(2) 大統領は、他方で外交・安全保障を含む国政に精力的に取り組んでいく。

2. これに対し、大臣より貴長官の御ふ心はよく分る、自分のことのような気持ちでテレビをみている旨コメントするとともに、このような時こそ西側がしっかりと結束を固めることが重要であり、ソ連に乘ぜられないようにしなければならない旨西側の団結につき強調した。「シュ」長官は、右発言に対し謝意を表明。

外務省



## 注 意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の内容に関する照会、要望等は特殊電配布班(TEL2172)に。
3. 本電の主管変更は記帳班(TEL2172)に連絡ありたい。

## 電 信 写

3. 続いて大臣より、本日の会談は時間が限られているので、日米二国間関係について、経済を中心に自分からまず発言し、次に対ソ関係について貴長官の見解をうかがい、自分からもコメントし、最後に時間が許せば他の問題を取り上げたい旨述べた。

4. これに対し、「シュ」長官より結構であるが、国際情勢については、ソ連のみでなく、アジア・太平洋情勢についても意見交換したい旨コメント。(了)



注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の内容に関する照会、要望等は特殊電配布班(TEL2172)に連絡ありたい。

限定配布

総番号 R174480

月 11日

61年 12月 12日

ベルギー

本省

主管

北米局長

外務大臣殿

山本大使

日米外相会談(日米防衛協力)

第876号 極秘 大至急

(限定配布)

往電第869号別電2

1. (1) 大臣より、日米関係の冒頭に次の通り発言。

「政府としては、62年度より在日米軍従業員労務費の新たな負担を行うこととすべく、政府部内でえい意調整を行つて来たが、つい先刻、東京より、右負担方式について財政当局との調整を了したので、近く、右をふまえ、この負担を可能にする特別協定(わが国においては国会承認条約)案を米側に提示できることとなつた旨の報告があつた。

金額については、今後更に財政当局とせつしうを行つていくこととなるが、現下の極めて厳しい財政状況の下で、このような新規負担の方式がまとめられつつあることは、日米安保体制の効果的運用についてのわが国の決意の大きさを示すものである。」

(2) これに対し、「シュ」長官は、米国の大変関心の強い問題について良い知らせを聞けてうれしく思う。防衛負担の分担は、貿易と同じ位、米国にとり重要な問題で



# 注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の内容に関する照会、要望等は特殊電配布班(TEL2172)に連絡ありたい。
3. 本電の主管変更は記帳班(TEL2172)に連絡ありたい。

## 電信写

ある。検討中の方式につきより詳細なお話を聞かせて欲しい旨述べたところ、大臣より、詳細については事務当局より然るべく説明させることとする旨応答。

2. 日米経済関係の討議の際に(別電3. 参照)、「シュ」長官より次の通りの発言がなされた。

(1) 貴大臣が言われたように、貿易と防衛は違う問題であり、別々に取り扱うべきである。しかし、両者は相互に関連していることもあり、その例は日本の次期戦闘機の問題である。日本が、次期戦闘機を米国や他国から輸入せず、自国で開発する場合、日本市場が十分大きくないため、日本の国内市場のみに限定することは、経済性に合致しないことになる。

これは、戦闘機の国際市場に日本が新しい競争者としてとう場することを意味している。

(注：なお、本件外相会談後、ハバード日本部長は米北1長に対し、上記の「シュ」長官の発言は若干誤解に基づくものであり、米側部内で善後策を講じる由内話)。(了)



注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の内容に関する照会、要望等は特殊電配布班(TEL2172)に連絡ありたい。

限定配布

電信号

90/20-1990-00687

総番号 R174392

月 11日

61年 12月 11日

ベルギー

本省

発着

主管

外務大臣殿

山本大使

日米外相会談(日米経済関係)

第873号 極秘 大至急

(限定配布)

往電第869号別電3

1. クラナリ大臣より日米経済関係の積極的側面に係る資料を手交するとともに概要次のとおり述べた。

(1) コメの問題に関するシュルツ長官の種々の御配慮を多とする。この問題は現時点でうんぬんすることは得策でない。

(2) 半導体の例でみられるとおり、日米間の案件処理に対するEC等の不満が大きくなっている。日米間でうまく協議していきたい。

(3) 石たんの例でみられるとおり今後日本国内における雇用の問題等困難な側面が出てくるが構造調整は推進していきたい。

(4) 民主党が支配する議会との関係が困難なものとなろうことは良く理解。保護主義の拡大は世界経済全体に悪い影響をもたらすことは必至であり、知恵をしばって大統領の努力に協力したい。

(5) コメの問題等を契機として通商法301条に対する危ぐが高まっている。30



## 注 意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の内容に関する照会、要望等は特殊電配布班(TEL2172)に連絡ありたい。
3. 本電の主管変更は記帳班(TEL2172)に連絡ありたい。

## 電 信 写

1条の安易な発効はマイナスが多い。その前に問題を投げかけてくれればわが方としても建設的協議による解決に努力する。

(6) 先般もコロラド州知事の来訪を受けたが各州とのコミュニケーション強化にも努力したい。

(7) 関西新空港、アルコール等の問題への米側関心は良く承知。私としても円満な解決に努力したい。全日空の新機種選定についてはシュルツ長官より書簡をいただいたが、政府としては一切干渉せず民間会社の商業的技術的判断に委ねた次第。結果的には御期待に沿えなかつたが、最後までしん重な選定作業が行われたと承知。

(8) 行政府が貿易と防衛を切り離して対処していただいているのを多とする。今後共リンクさせないでしずかな対応を行っていくことを期待したい。

(9) シュルツ長官とは日米経済関係の総らん者としての立場から緊密に協力していきたいと、また時間のある時にるい積債務等グローバルな問題についてもお話したいと考える。

2. これに対しシュルツ長官は概要次のとおり述べた。

(1) 日米経済関係をめぐり日米間で多大の労力が費やされており、私自身も努力を行ってきた次第であり、今後共かかる努力を継続したいと思う。

しかしながら、最近の展開について失望を禁じ得ない側面があると申し上げざるを得ない。(I AM SOMEWHAT DISCOURAGED)

(2) 大臣は301条の問題提起をされたが、米側の事情としては301という「マジック・ナンバー」に言及せざるは諸外国がじゅう分な注意をもつて問題に取組まな



注 意

1. 本電の取扱いには慎重を期せられたい。
2. 本電の内容に関する照会、要望等は特殊電配布班(TEL217)に連絡ありたい。
3. 本電の主管変更は記帳班(TEL2172)に連絡ありたい。

電 信 写

いということである。コメの問題についての日本側の行動をきょう味をもつて見守っている。コメは消費者に多大の負担を強いており、日本としても結局何らかの措置をとることとならざるを得ないのではなからうか。

これはオープン・クエスチョンである。

(3) 全日空がエアバスに機種選定を行つたことにはいたく失望した。ボーイングは純粋に民間会社であるが、エアバスは多大の補助金を受けており、政府と民間の競争といつても過言でない。このような決定が今後どういうインプリケーションをもつかということは日本側としても考えていただかざるを得ない。

(4) (マース社のチョコレートのかくろを提示しつつ) 例えばこのチョコレートを日本市場ではん売すべく多大の努力が行われているが、日本のチョコレート関税は米国の4倍であり、このような状況の中で競争を行うのは困難である。

(5) 関西新空港については応さつちの機会があるということはかん迎するが、例えばも未だ残っているようである。(6) これらの問題うめ立て工事に関連した問題が存在することが、私が失望していると言つた理由である。私としては日米関係の重要性について確固とした認識を有しているし、今後共大統領の保護主義との戦いの努力に最大限協力していくつもりである。

米に転電した。(了)



- 注意 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。  
2. 本電の内容に関する照会、要望等は特殊電配布班(TEL2173)に連絡ありたい。

限定配布

電信号

総番号 R174462

月 11日

61年 12月 12日

ベルギー

本省

発

着

主管

米田

外務大臣殿

山本大使

日米外相会談(テロ・シリア)

第878号 極秘 大至急

(限定配布)

往電第869号別電5

1. 「シュ」長官より次のとおり述べた。

イラン事件との関係において如何なる混乱があろうとも、米政府のテロに対するし勢は一かんして強いものである。米国はテロに対して断固として闘うつもりであり、人質の身代金支払いは正しいとは考えていない。テロに関与する国家は、外交関係断絶に至らずとも、ご立させられることで代償を支払わされるべきである。このような国は、リビア、シリア、イランである。日本政府がシリアのエネルギー・プロジェクトに対して行っている資金協力に対して再考をうながしたい。シリアがテロに関与しているのは疑う余地のないところである。

2. これに対し、大臣よりシリアの火力発電所に対する協力は既契約分であり、それを実施するに至った詳細の説明は省略する。わが国としては新規の対シリア援助は行なわない旨述べた。(了)



注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の内容に関する照会、要望等は特殊電配布班(TEL217)に連絡ありたい。
3. 本電の主旨変更は記帳班(TEL2172)に連絡ありたい。

限定配布

電信号

総番号 R174397

月 11日

61年 12月 11日

ベルギー

本省

発着

主管

北米有友

外務大臣殿

山本大使

日米外相会談(総理の外国訪問)

第875号 極秘 大至急

(限定配布)

往電第869号別電6

1. 大臣より、ゴルバチョフ・ソ連書記長の来年1月訪日はなくなり、総理としては、1月10日から17日まで、東独、ユーゴ、ポーランドを訪問し、途中でフィンランドも訪問する予定である旨述べたのに対し、「シュ」長官はわが方の事前通報に謝意を表明するとともに、ナカソネ (PROFESSOR) を高く評価 (HIGH REGARD) している旨付言。(了)



注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。

2. 本電の内容に関する照会、要望等は特殊電配布班(TEL217)に連絡ありたい。

3. 本電の主旨変更は記帳班(TEL2172)に連絡ありたい。

限定配布

90/20-1990-00687

電信写

総番号 R174380

月 11日

61年 12月 11日

ベルギー

本省

主管

北米局長

外務大臣殿

山本大使

日米外相会談(対ソ関係)

第871号 極秘 大至急

(限定配布)

往電第869号別電8

大臣より、米ソ関係につき「シュ」長官の見解を求めたのに対し、先方は概要次の通り発言。

1. (1) レイキャヴィクにおいて、軍備管理・軍縮問題につき米国が長い間けん持してきた立場を反えいした“潜在的合意”が出来かかった。INF、START分野において特にけんちよであつたが、宇宙(ABM条約、SDI)については実質的動きがあつたものの達成されたものは少なかつた。レイキャヴィク後はいわば“消化”の過程であり、レイキャヴィクで何が達成され何が達成されなかつたかについて区分ける努力を続けている。この意味で12月初旬の専門家協議ではかなりの成果が上つた(WORKED OUT REASONABLY WELL)。

(2) 当分の間、米ソ間の全ての議題を同時に進めていくことを考えている。二国間関係は多くの点でかなり上手く(REASONABLY WELL)進んでいる。しかし人権分野では問題があり落たんしている。最近もソ連の人権活動家セシエンコが



## 注 意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の内容に関する照会、要望等は特殊電配布班(TEL2172)に連絡ありたい。
3. 本電の主管変更は記帳班(TEL2172)に連絡ありたい。

## 電 信 写

ごく死する事件があつた。

ソ側当局に対し、人権に対するソ連の態度が変わらない限り二国間関係の正常化は実現しないとの点を絶えず思い出させるべきである。

(3) 地域問題に関する協議は必ずしも生産的なものではないが、継続していくつもりであり、アフガン、カンボディア問題等を取り上げていく。

(4) 米ソ関係にはある種のリズムがあり、また将来のことを予測することには常にリスクを伴うが、自分(「シュ」長官)の見通しは明年春には何か出てくる(SOME DEVELOPMENT)のではないかと思う。もち論この見通しは間違っているかもしれないが。

2. 冒頭貴大臣が言われた通り(注:、現下の状況下で西側同盟諸国がしつかり団結し、ソ連に乘じられないようにすべきであり、ナカソネ総理及び本大臣も西側の団結のためにじん力するつもりであるとの発言)、正しい方向としては、われわれの利益を守るための力と能力(STRENGTH AND ABILITY)を維持しながら同盟諸国間の団結を守りつつ、ソ連が合理的な話し合い(REASONABLE DISCUSSIONS)をする用意があれば直ぐに応じ得る態勢をととのえておくことであり、現にそのようにしている。(了)



注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の内容に関する照会、要望等は特殊電配布班(TEL2175)に連絡ありたい。

限定配布

電信号

総番号 R174373

月 11日

61年 12月 11日

ベルギー  
本省  
発着

主管  
北米局長

外務大臣殿

山本大使

日米外相会談(大洋州訪問)

第872号 極秘 大至急

(限定配布)

往電第869号別電9.

1. 本件会談を終るに際し、大臣より、来年1月には太平洋の諸島への訪問を考えている、もち論これはおよいだり魚つりをするためではない旨付言したのに対し、「シュ」長官より、太平洋地域にはいろいろな取極めもあり、段々と関係を前進させている、いずれにせよ、この地域での日米協力も重要である旨コメントした。
  2. さらに大臣より、同じく1月には、豪州とNZを訪問することとなろう旨述べたのに対し、「シュ」長官は大変結構(EXCELLENT)である旨コメントした。
- (了)



4  
月  
30  
日



# 主管課緊急処理用

極秘

大政務次官  
外務省  
官官審審長長

大外査  
使研審

対文会厚情オ  
括審察人電在儀警史

外報官領移  
文長 一二

参一二旅査移

審地中東  
参北東西

北本長  
審一二

中南長  
参西ソ洋  
西東

歐長  
審一二アア  
二二

審經漁途国  
經エ国  
二ネ

参海 審準

審政国開無  
参調技有理

審条協規

国長  
審政経人  
参軍社

科審  
科原

情調長  
審情析調  
審企安

総番号 R064454

月 30日

62年 05月 01日

米 国 発  
本 省 着

主 管

北米局長

外務大臣殿

松永大使

総理訪米（第1回首のう会談）

第4233号 極秘 大至急

（限定配布）

30日、10時30分よりナカソネ総理は1時間10分間レーガン大統領との第1回首のう会談にのぞまれた。冒頭テ・タ・テ（約10分間）の模様別電1.、引続き行われた全体会合の模様別電2.の通り。

テ・タ・テには先方NSCケリー、わが方フジイ北米局長が同席（通訳イイダ、ニシミヤ）、全体会合には先方ブッシュ副大統領、シュルツ国務長官、ワインバーガー国防長官、ベーカー財務長官、ボルドリッジ商務長官、ヤイターUSTR、リン農務長官、H. ベーカー大統領首席補さ官、カールッチNSC補さ官、マンスフィールド大使、わが方クラナリ大臣、ワタナベ官房副長官、本使、ムラタ外審、フジイ北米局長、ワタナベ経済局長、フクダ秘書官、ヤマザキ北米1課長。（了）

05月01日



# 主管課緊急処理用

極秘

大政事務外典  
務務典房  
次次典房  
臣官官審審長長

大外査  
察  
使研審

対文会厚情オ  
括察人電在儀警史

外 報 官	審報内 際外
文 長	一二

領移 参一二旅査移

審地中東  
参北東西

北米長 審一二保

中南長 審一二

欧長 参西ソ洋  
西東

近 審一二アア

経協長 審経経途国  
経経エ国  
二ネ

参海 審準

経協長 審政国開無  
参調技有理

条長 審条協規

国長 審政経人  
参電社

科審 科原

審情折調

審企安

総番号 R064462

月 30日

62年 05月 01日

米 国 発  
本 省 着

主 管

北米局長

外務大臣殿

松永大使

総理訪米（第1回首のう会談一テクテ）

第4234号 極秘 大至急

（限定配布）

往電第4233号別電1.

- 冒頭写真取材の合間に大統領より、貿易法案に言及し、自分は拒否権を発動するし、これが維持されることを期待している旨発言があつた。
- 会談に入り大統領より、かん迎できて非常にうれしい。公式訪問でもあり、ごらんの様子はなやかなセレモニーでお迎え出来た。経済問題が最大関心事であり、これはこのあとの全体会でやりたいが、その前にうかがっておくべきことあればうかがいたいとして総理の発言を促した。

3. これを受けて、総理より以下の発言をされた。

（1）公式訪問の招待及び重い重なるおもてなしに家族ともども感謝申し上げる。

クルーシャル・タイムにこそ来るべしと考え、やつて来たが、来てよかつたと思つて

（2）昨日、へい下にお目にかかり、御あいさつ申し上げた際、へい下より大統領に



（大統領より、お言ばに感謝す

ると共に、両殿下御訪米をたのしみにしている旨発言）。

（3）東西間の緊張かん和・平和のための貴大統領の努力、米・ソ会談を突りあるものとするための努力にけい意を表し、これを支持したい。INF、なканずくSS-20の処理について、わが国の希望、即ちグローバルなアプローチ、究極ゼロ、アジアをぎせいにしないとの点をお伝えして来ているが、御配慮に感謝し積極的に支援して行きたい。

（4）通貨の安定、特に円・ドルの安定を重視している。わが国もその為に全力を挙げるが、米国も努力願いたい。全世界が注目しており、確固たる意思表示が重要。（大統領より、本件については、後程ベーカー財務長官より発言があろう旨コメント）

（5）個別問題については早期解決に全力をあげており、解決ないしは道をつける決意を明確にしておきたい。

半導体に関する措置は不こうなことであつた。わが国は実績には自信があり、ヴェニス・サミット前に撤回する旨明らかにしていただけると今次訪米への国民の評価も高まり、政治的に助かる。（大統領は深くうなずきつつ、そうなることを希望する（I HOPE WE CAN DO IT）と述べた）。

（6）ヴェニス・サミットについては、いつも通りピッチャー・キャッチャー関係で協力したく、お互い西側の結束のため努力して行こう。



極秘

4. 以上を受けて大統領より、INFについては、グローバル・ゼロを目指し努力している。これが不首びの場合米国は同様の数を抑止力としてアラスカに配備する意向であると発言した。（総理より、今のは極めて重要な点であり、御発言を多とする旨述べた）。（了）



注 意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の内容に関する照会、要望等は特殊電配布班(TEL2172)に連絡ありたい。
3. 本電の答復等は記帳班(TEL2172)に連絡ありたい。

極秘

限定配布

総 番 号 R 0 6 4 5 3 4

主 管

月 3 0 日

米 国 発

6 2 年 0 5 月 0 1 日

本 省 着

外務局長

外 務 大 臣 殿

松 永 大 使

総理訪米 (第1回首のう会談-全体会合)

第 4 2 3 8 号 極 秘 大 至 急

(限定配布)

往電第 4 2 3 3 号別電 2.

1. 冒頭、大統領よりかん迎の辞があり、更に次の発言があつた。

(1) 貿易不均こうは米国にとり問題である。御承知の通り、議会では保護主義的感情がたかまつている。自分は保護主義には反対であり、保護主義法案には拒否権を発動している。保護主義は、現在の問題の解答にはならない。

(2) 米国としては財政あか字問題、予算のあか字削減の戦いを継続しており、また世界的に米国の競争力を強化するための法案を提出している。

(3) ゲップハート条項が下院を通過したところ、通常法案策定過程では(行政府の方針は公けにしないが、自分としては拒否権を発動すべく、既にペンを持っている。(I HAVE A PEN IN MY HAND WAITING TO VETO.))

(4) 貴総理が考えている日本の内需中心成長及び構造改革を実現せんとする意向に意を強くしている。経験上、貿易拡大のための最大のし激は国内市場の拡大を通じ、消

大政事外務次官  
典房  
臣官官審審長長

大外査  
察  
使研審

総対文会厚情オ  
括  
審察人(電)在儀警史

外 報 官 領 移 長  
審 報 内 際 外  
文 長 一 二  
参 一 二 旅 査 移

ア 審 一 東  
参 北 東 西

北 米 長 審 一 二 保

中 南 長 審 一 二

欧 参 西 ソ 洋  
而 東

近 ア 長 審 一 二 ア  
一 二

経 次 審 経 漁 途 国  
総 経 工 国  
二 一 一

参 海 審 準

経 協 長 審 政 国 開 無  
参 調 技 有 理

条 長 審 条 協 規

国 審 政 経 人  
参 軍 社

科 審 科 原

情 調 長 審 情 析 調  
審 企 安



## 注 意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の内容に関する照会、要望等は特殊電配布班(TEL2172)に。  
に。
3. 本電の主管変更は記帳班 (TEL2172) に連絡ありたい。

## 電 信 写

費者が多くを購売・消費できるようにすることがきめ手となる。

(5) 本日の会談の議題について、総理の考えをうかがいたい。

2. これに対し総理より、次の通り発言。

(1) 公式訪問ご招待及びおもてなしに感謝する。テレビを通じ先程のかん迎行事を見て日本国民はうれしく思ったと思う。経済問題が最も重要なので見解を述べたい。

(2) 貴大統領の保護主義反対、自由貿易推進の一かんしたし勢にけい意を表し、拒否権を発動するとの発言に意を強くした。貴大統領と2人ではじめた新ラウンドをぜひ成功させたく、そのためにも断固保護主義と戦っていく必要がある。全面協力をおしめない。

(3) わが国内で、大きな政治問題となつていることを2点申し上げたい。

(イ) 通貨の安定は極めて重要である。別途連絡をいただいた米側の要請は承知している。通貨安定のため、どんな障害も乗り越え、日・米・欧が全面協力しなければならない。米側メッセージは実のある内需拡大及び短期金利引下げに言及していたところ、内需拡大については5兆円以上の財政措置を講じ、実のあるものとするとともに、他の項目でオフセットしないようにする。できるだけ早く実現したい。短期金利については、大蔵大臣と日銀総裁に指示済みであり、オペレーションが開始されている。

(ロ) 今次訪米との関連で日本国民は半導体の件に非常に注目している。近々、数字



## 注 意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の内容に関する照会、要望等は特殊電配布班(TEL2172)に。
3. 本電の主管変更は記帳班 (TEL2172) に連絡ありたい。

## 電 信 写

を出すので、ヴェニス・サミットの以前に措置を撤回することを明らかにしてもらえれば政治的に助かる。

(4) 以上につき貴大統領のお考えをうかがいたい。

3. (1) これに対して、大統領は、米側より提起したかつたもう1点、即ち金利問題には既に回答いただいた、為替レートについては、日米蔵相が2回会談しており、円高が日本の生産成長に深刻な影響を及ぼしていることは承知している、総理のただ今の御発言に満足していると述べた。

(2) また、ベーカー財務長官より、短期金利についての総理の御発言をかん迎する。これをどう公表するかにより為替市場に良い影響があり得るので、よく打ち合わせたい。通貨安定の必要性には同感。今次御訪米には世界が注目している。世界の二大経済大国の日米が対外不均衡を正すため協調行動をとれるか否か、いきをのんで見守っている。いずれ不均衡は経済的な力学で市場を通じ解決されようが、正しく解決されることを望みたい、旨述べた。

(3) これに対し、総理より、通貨安定には保護主義、不況、通貨調整のみでは無理があり、構造改革と、協力への明確な政治的意思の表明が不可欠と述べた。

(4) ベーカー長官より、同感の意を表しつつ、問題はいかにそれを実行していくかである。米国がなすべきことがいくつかあり、市場はわれわれの保護主義との戦い、財政あか字削減努力を注視しているが、もう一つ市場が注目しているのは日本の内需拡大策であり、それがどの程度早く実施されるかである旨コメントした。

4. これを受けて総理より以下の通り御発言。



## 注 意

1. 本電の取扱いには慎重を期せられたい。
2. 本電の内容に関する照会、要望等は特殊電配布班(TEL2172)に。  
に。
3. 本電の主管変更は記帳班 (TEL2172) に連絡ありたい。

## 電 信 写

(1) 実のある内需拡大を行う。中央政府、地方政府、関係公的機関につきリアル・マネーを最大限盛り込む。あとでオフセットするようなことはない。地方政府というのは不安を感じられるかも知れないが、州権の独立している米国と異なり、わが国では国道やけん道も国と地方が半分づつ金を出し合うなど制度が違う点を念頭に置いていただきたい。

(2) 時期については、国内政治状況にかかっているが、自分としては極力早期に実施したい。昨日クラナリ大臣よりシュルツ長官に「夏ころまでに」と述べたが、自分もその方向で考えたい。国会如何であり、税制改革の問題ではく労したが、今述べたような方向で政局をゆう導していきたい。

(3) 減税については、議長あずかりとなり、各党で相談するとの政治的協定となっているが、自分としては、個人所得税、法人税の減税先行に努力したい。しかし、これは全体の税体系の中での減税であり、体系そのものはいずれ必要なので、与野党で話し合っている。(大統領より、減税が米国景気回復の最大の要因であつた。減税によるし激の結果より低い税率にもかかわらず、税收ものびた旨コメントし、総理も米国の経験はよくべん強している旨述べた。)

5. 大統領より、米国民にも聞かせたい問題があるとしつつ、石たん・てん然ガスの輸入拡大の希望表明があり、更に(米側同席者に向かつて)先程テ・タ・テでヴェニス・サミット前の制裁撤回の要請があり、自分(大統領)より解決が見い出されることを望んでいる旨保証を与えた。(I ASSURED HIM THAT I AM HOPEFUL THERE WOULD BE ANSWERS.)この問題



## 注 意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の内容に関する照会、要望等は特殊電配布班(TEL2172)に。  
秘
3. 本電の主管変更は記帳班 (TEL2172) に連絡ありたい。

## 電 信 写

で意見のある者は発言して欲しい、と述べ、しばし以下のやりとりが交わされた。

(ヤイター) タムラ通産大臣と長時間話し今後の段取りにつき、完全な了解に達している。第3国市場及び対日アクセスに関する4月分データが5月第3週に手に入るの  
で、早急にこれを分せき・評価し、その結果次第で極力早く解除するということである。サミット前という可能性もあるが(MAYBE)、今、結論を先取りするのは時期しよう早。客観的態度で最善をつくすが、結論は証拠の説得力次第。総理にもタムラ大臣にも保証した通り、米側としてもいつまでも制裁を維持したいとは思っており。制裁は、必要より1日たりとも長く継続することはない。

(総理) ヤイター代表の言うことはわかるが政治状況を考える必要がある。大統領は安倍特使に' ' VERY SOON' ' と述べたところ、今次訪米との関連で、' ' VERY SOON' ' とはいつであるか、若干あいまいであつても明らかにすることは自分の使命である。

(ヤイター) ' ' VERY SOON' ' がいつかは日本側にかかっている。4月のデータが良ければ分せき・評価を終え次第であるし、そうでなくても、5月のデータが良ければ分せき・評価を終え次第ということであろう。

(ペイカー長官) 日本の政治状況についてはわれわれ全員理解している。他方、米国内でも大統領は保護主義と戦っており、議会と貿易法案について種々のやりとりがある。こうした状況をふまえ、表現を工夫する必要がある。' ' AS SOON AS POSSIBLE' ' も一案か。

(総理) 事務当局に委ねるが、ヴェニス・サミット以前を暗示する必要がある。



## 注 意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の内容に関する照会、要望等は特殊電配布班(TEL2172)に。  
極秘
3. 本電の主管変更は記帳班 (TEL2172) に連絡ありたい。

## 電 信 写

(ボルドリッジ) もし、日本との協力で検証作業が進み、4月の数字がうまく出てくれば(3月の数字も既に改善の兆しがある旨付言)、6月1日までには解除可能なはずである。(WE SHOULD BE ABLE TO LIFT SANCTIONS BY JUNE 1) ' ' IF ' ' を付けたターゲット・デイトというのも有り得ようか。

(ヤイター) 表現振りには極めてしん重を要する。上院では貿易法案が審議中であり、ここ2、3日の間、難しい状況を招来するのは日米いずれの為にもならない。しん重な表現が必要。

(総理) わが国も同じような難しい政治状況がある。高度の配慮が必要である。

6. 大統領より、今次対策のほかの部分も承知したいと述べたのを受け、総理より以下のとおり発言。

(1) 途上国への資金かん流を実施する。昨秋100億ドルに加え、新たに200億ドルを実施し、3年間で合計300億ドルのかん流計画となる。新たな200億ドルの内、80億ドルは去年の日本特別ファンドと類似の方式で国際開発金融機関、就中、米州開銀、アジア開銀へ、90億ドルはOECD、輪銀、民間銀行の国際開発金融機関との協調融資及び基金のパイラテラル・ローン、30億ドルは輪銀のアンタイド・ローンである。これらは、アンタイドであること、及び、投票権の拡大を求めないことを特徴とする。ラ米及びアジア(特に比)中心ということで、米州開銀、アジア開銀に言及したが、いずれにせよこれら地域は、現金を必要としており、ノン・プロジェクト・ローンを重視したい。因みに、最近コロンビアに対し1億ドルのアンタイド



## 注 意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の内容に関する照会、要望等は特殊電配布班(TEL2172)に。
3. 本電の主管変更は記帳班(TEL2172)に連絡ありたい。

## 電 信 写

ド・ローンが出ているが、52%を米国、18%をフランスが受注している。

(2) 石たんについては、貴大統領との了解があり個人的にも努力したい。しかし、米たんはトンあたり62ドル、豪州・中国は45-51ドルである上に、更に5ドル程度の値引きを行っており、米たんとの格差は15ドルに拡大している。他方、品質の差は縮小しており、更に、円高デフレ及び構造改革の結果、鉄鋼産業では高ろ8基の火が消え、4万人が失業するとの状況にもなっている。そこで、豪州、中国とならんで少なくとも5ドルの値引きが行われることが重要。それでもトンあたり10ドルの格差がある。5ドル値引きが行われれば1000万トンに近づけるための説得がし易くなる。政府が電力・ガス業界に援助しなければ買わないので、これも考えている。

(3) (大統領より、予定時間を超過しているので引き続き明日の会合で議論してはどうかとの示さを受けて) 関西空港、スーパーコンピュータ等についても、最大限の努力をしているが、これらについては次回会合で説明したい。(了)



01

各種會談、懇談



極秘

大政事外儀官  
務務典房  
次次  
臣官官審審長長

大外査  
察  
使研審

総総対文会厚情オ  
括  
審察人電在儀警史

外	審報内 際外
報	文長 一二
官	

領移 参一二旅査移

審地中東  
参北東西

北米長 (審一二保)

中南長 審一二

欧 参西ソ洋  
西東  
長 二

近 審一二アア  
二

経 次審経漁途国  
総経エ国  
ネー

参海	審準
----	----

経協長 審政国開無  
参調技有理

条長 審条協規

国 審政経人  
長 参軍社

科審 科原

情調長 審情析調  
審企安

総 番 号 R 0 6 5 1 8 8

主 管

月 0 2 日 米 国 発  
6 2 年 0 5 月 0 2 日 本 省 着

外 務 大 臣 殿

松 永 大 使

第 2 回 日 米 首 の う 会 談

第 4 2 8 8 号 極 秘 大 至 急

( 限 定 配 布 )

1 日、ナカソネ総理は 1 1 時過ぎより約 3 0 分間、ホワイト・ハウスにて第 2 回日米首のう会談に臨まれた。同席者は、米側ブッシュ副大統領、シュルツ国务長官、ベーカー財務長官、ワインバーガー国防長官、ボールドリッジ商務長官、リン農務長官、ヤイター通商代表、ベーカー首席補さ官、マンسفールド大使他、わが方、クラナリ外務大臣、ワタナベ官房副長官、本使、ムラタ外審、フジイ北米局長、ワタナベ経済局長他。通訳はイイダ、ニシミヤ。会談の概要、経済関係別電 1. 、政治関係別電 2. のとおり。(了)

0 5 月 0 2 日



極秘

大政事外儀官  
務務典房  
次次  
臣官官審審長長

大外査  
察  
使研審

総総対文会厚情オ  
括  
審察人電在儀警史

外 報 官	審報内 際外
文 長	一二

領移 参一二旅査移

審地中東  
参北東西  
二

米長 審一二保

中南長 審一〇

欧 参西ソ洋  
長 西東  
二

近 審一二アア  
二

経 次審経漁途国  
総経エ国  
二ネ一

参海	審準
----	----

経協長 審政国開無  
参調技有理

条長 審条協規

国 審政経人  
長 参軍社

科 科原  
審

情調長 審情析調  
審企安

総 番 号 R 0 6 5 1 7 3

主 管

月 0 2 日 米 国 発  
6 2 年 0 5 月 0 2 日 本 省 着

外 務 大 臣 殿 松 永 大 使

第 2 回 日 米 首 の う 会 談

第 4 2 8 9 号 極 秘 大 至 急

( 限 定 配 布 )

往 電 第 4 2 8 8 号 別 電 1 .

1 . 冒 頭 レーガン大統領より、途上国るい積債務問題けい減のための日本の支援を評価する。債務るい積については、ケース・バイ・ケースのじゅう軟なアプローチが結実することを希望する旨発言した。

2 . 次いで外電が日銀当局者の言として、日本の金融政策に変更はない旨伝えていることをふまえ、総理より、金利に関して再確認をしたいとした上で、次のとおり発言。

市場短期金利は下げるようにさせている。これは、本来日銀の権限に属し、政府として強制できないが、日銀と大蔵省が連絡をしつつ、公定歩合は現状維持しつつ、市場短期金利については、下げるということで、日銀独自の見解としてオペレーションを開始している。

3 . 会談末びに大統領より、既に各方面にご説明されているとは思いが、自分も承知したいとして、関西空港の手續とう明性、第 2 K D D に関連したケーブルの認可、ス



ーパー・コンピューターの政府機関による購入に言及したのに対し、総理よりそれぞれ次のとおり応答。

(1) 関西空港については、完全内外無差別、及び手続のとう明性につき、24日正式発表が会社よりなされており、また、具体的手続も明らかにされているが、これを徹ていさせたい。自分の指示もあり、建設省は独禁法の範囲内で、日米の建設業者がこん談し、協力していく方向で動きは始めている。なお残念ながら、米建設各社は余り建設業許可申請にきよう味を示さず、わずかが3社そうしている程度である。

(2) 第2 KDDについては、民間で一つの会社にする作業が行われているが、政府としては、ケーブルふ設はかん迎。3分の1以内の外資参加かん迎との方針である。一つの会社にするのか、しないのか見守っている。

(3) スーパー・コンピューターについては、政府調達取極の下にあるNTTが1台買うほか、政府の研究機関でも買うことを協議している。補正予算の中にそのための経費を計上する。大学に対するアカデミック・ディスカウントは米にもあり、もともとIBMが日本に教え、フジ通、日立などがまねているものである。いずれにせよ、政府調達の手続明確化のガイドラインの作業を行っている。

4. 最後にシュルツ長官より、特に発言を求めたいとして、日本はキューバよりのさとう輸入をやめ、かわりに比から買うことが出来ないかとの発言があり、総理より、値段と生産量の問題はあるがテーク・ノートする旨述べたところ、シュルツ長官は、地理的な関係も考えて比と言ったが、キューバ以外ならばカリブ海の民主主義国家から買っていただくのでも結構と述べた。大統領より "AGAINST ALL HO



極秘

PE”という本が評判になつているが、これは22年間政治犯としてキューバで投  
くされていた人物の書いたもので、改めてカストロ政権のひどさを記したショッキン  
グなものである、と述べ、会談を了した。(了)



極秘

大政事外儀官  
務務典房  
次次  
臣官官審審長長

大外査  
察  
使研審

総対文会厚情オ  
括  
審察人電在儀警史

外	審報内
報	際外
官	文長
	一二

能移 参一二旅査移

審地中東  
参北東西

米長 審(保)

中南長 審

歐 参西ノ群  
西東

近 審二アア  
二二

経 次審経漁途国  
総経エ国  
二ネ一

参海 審準

経協長 審政国開無  
参調技有理

条長 審条協規

国 審政経人  
長 参軍社

科 科原

情調長 審情析調  
審(友)

総 番 号 R 0 6 5 1 7 2

主 管

月 0 2 日 米 国 発  
6 2 年 0 5 月 0 2 日 本 省 着

外 務 大 臣 殿 松 永 大 使

第 2 回 日 米 首 の う 会 談

第 4 2 9 0 号 極 秘 大 至 急

( 限 定 配 布 )

往 電 第 4 2 8 8 号 別 電 2

総 理 より、政 治 案 件 に つ い て も 簡 単 に 触 れ て お き た い と し て 以 下 の と お り 発 言。大 統  
領 より 特 段 の 発 言 は な か っ た。

# 1. I N F

交 渉 に つ き 緊 密 な 連 絡 を い た だ い て い る こ と を 多 と す る。究 極 目 標 は グ ロ ー バ ル ・ ゼ  
ロ で あ り、ま た、ア ジ ア へ の 配 慮 が 必 要 と、従 来 より 申 し 上 げ て い る と こ ろ、か か る  
配 慮 を い た だ い て い る こ と を 評 価 し、引 き 続 き ご 健 闘 を い の る。

検 証 へ の 配 慮 が 重 要 で あ り、ま た、ア ジ ア で 仮 に も 妥 協 す る 場 合 で あ っ て も、こ れ は  
あ く ま で も 暫 定 的 な も の と し、最 後 ま で グ ロ ー バ ル ・ ゼ ロ を つ ら め て ほ し い。な お  
、S R I N F に つ い て は、高 度 の 移 動 性 に か ん が み、グ ロ ー バ ル 規 制、及 び 米 ソ 平 等  
が 極 め て 重 要。

# 2. S D I

基 本 的 理 念 が 平 和 国 家 の 立 場 に 合 致 し、参 加 が 日 米 安 保 体 制、西 側 結 束 強 化 を も た ら

0 5 月 0 2 日



すとの考えから、研究計画参加のわく組交渉が進展しており、互譲の精しんで早期妥結をはかりたい。

### 3. フィリピン

アキノ政権支援の立場から、3億ドルの追加借かんを決めた。

### 4. 中米カリブ

同地域を重視し、米国と緊密に協議しつつ、安定化・民主化のために、援助を拡大していきたい。

### 5. 中東

米国のイニシアティヴをかん迎。国際協調の下で協力していきたい。なお、西がんとガザには国際機関を通じる援助を開始した。

### 6. 朝鮮半島

安定化及びオリンピック成功に向けて協力していきたい。

### 7. ヴェニス・サミット

レイキャビク後、西側自由世界が協調し団結を高める最初の大事な機会であり、世界経済についても、これを活性化し、世界の人々に希望を与え、ウルグァイ・ラウンドを推進する大事な機会であるので、大統領と協力しつつ成功に導きたい。(了)



01  
ベネチア・サミットにおける日米首脳会談(中曽根総理・レーガン米大統領)



# 主管課緊急処理用

極秘

大政事外外儀官  
務務典房  
次次  
臣官官審審長長

太外査  
使察  
研審

総総対文会厚情オ  
括審察人電在儀警史

外 報 官	審報内 際外
文 長	一二

参一二旅査移

審地中東  
参北東西

北米長  
審一二保

中南長  
審一二

欧  
長  
参西ソ洋  
西東

審一二アア

次審経漁途国  
(総経エ国  
ネー)

参海 審準

経協長  
審政国開無  
参調技有理

条長  
審条協規

国  
長  
審政経人  
審軍社

科審  
科原

情調長  
審情析調  
審企安

総 番 号 R 0 8 5 8 6 4

主 管

月 0 9 日

ヴェネチア

発

6 2 年 0 6 月 0 9 日

本 省

着

北米局長

外 務 大 臣 殿

西 田 大 使

V S I I (日米首のう会談)

第 1 1 0 号 極秘 大至急

(限定配布)

8日ナカソネ総理は、レーガン大統領のしゆくしやを訪ね、40分余り会談されたと  
ころ、経済関係別電1、政治関係別電2のとおり。会談にはわが方よりクラナリ外務  
大臣、ミヤザワ大蔵大臣、タムラ通産大臣、ワタナベ官房副長官、マツナガ駐米大使  
、北米局長、フジイ北米局長、ワタナベ経済局長、フクダ総理秘書官、先方よりシュ  
ルツ国务長官、ペーカー財務長官、ペーカー首席補さ官、カールツチNSC補さ官、  
ウオリス国务次官、ドゥーバースタイン補さ官、グンザンスキー特別補さ官、ハバー  
ド日本部長、同席(通訳わが方ニシミヤ、先方イイダ)。

別電とともに米に転電した。(了)

0 6 月 0 9 日



# 主管課緊急処理用

極秘

太政事務外儀官  
移移典房  
次次  
臣官官審審長長

大外査  
察  
使研審

総総対文会厚情オ  
括  
審察人電在儀警史

外 報 官	審報内 際外
文長	一二

参一二旅査移

ア 審地中東  
参北東西

北米長 (審) 保

中南長 審一二

欧 参西ソ洋  
西東

長 審一二アア

次審経漁途国  
総経エ国  
長 二ネ一

参海 審準

経協長 審政国開無  
参調技有理

条長 審条協規

国 審政経人  
長 審軍社

科 科原  
審

情調長 審情析調  
審企安

総 番 号 R085905

月 09日

62年 06月 09日

ヴェネチア

本 省

主 管

発

着

北米局長

外 務 大 臣 殿

西 田 大 使

VS II (日米首のう会談—経済)

第111号 極秘 大至急

(限定配布)

往電第110号別電1

1. 冒頭、レーガン大統領より、写真さつ影に際し記者団から半導体制裁解除につき質問あつたことに触れつつ、先程の質問がわれわれののうりにあることをよく表わしていると言へつつ以下のとおり発言した。

半導体の件は研究した結果、一定の前進があつたことがわかつたので、本日午後、改善に比例した5100万ドル (全体の17%) 相当の部分解除をする旨発表したい。

極く近い将来更なる前進がなされ、残りについても解除しうることを希望している。

具体的には、発表文は次のとおりである (として別FAX信の大統領声明案を通訳をして読み上げせしめた)。

2. これに対し総理より、わが方としても引き続き努力したいが全面解除を早急にお願いしたい。議会の圧力にもかかわらず決定を下されたことに感謝する旨述べられた。

3. 大統領より、これで議会はさわぐであろうが彼等こそが保護主義なのであつて、

06月09日



日本側が達成されたことにつきかかる決定を行うことはフェアだと思う。議会とのみやく絡で言えば、日本が引続き金利引き下げ努力を継続されることを望むと述べた。

。

これに対し総理は、従来通り短期金利低目ゆう導に引き続き努力したい旨述べられた。

。

4. 次いで総理より、訪米の際説明した緊急経済対策は確実に実行すると述べられた上で、次のとおり発言された。

6兆円、430億ドルの内需拡大策については、5兆円の公共事業費等との関連で補正予算は7月に国会を通したく、これは将来の予算で相さいしない。1兆円の出けつ、ネット減税については8月に法案を提出して成立をはかる。この他200億ドル資金かん流、5億ドルのサブサハラ等無償協力、10億ドルの政府調達も確実に実施する、更に輸入拡大の観点から、通産相が民間302社によびかけ、60億ドルの約束を得ているが、これも実現したい。

他方、われわれからは、先の日米共同発表にもある米財政あか字の削減を確実に実施していただきたいと思つている。世界経済において、日米が大きな責任があり、円ドルの長期安、インフレ抑制、高金利回避及び債務国救済につき日米が協力しなければならぬと思つている。右に、西独が加わるかもしれないが、日米は特に責任がある。このためわが国としても、内需拡大は来年も行い、継続性を保つつもりであり、近く公共事業費、投資的経費のリミットという財政原則を変更し、7月の準備段階から実施しようと思つている。しかし、こうした努力も、日米独が共同しなければ効果は



ない。米財政あか字縮小の経済縮小効果は日独がカバーし、仏、英、伊にも協力を求める必要があるかもしれないが、米にあつては、現実には財政あか字が縮小する努力を行つて欲しい、次回G7は、こうした国際政策協調の具体的方法をつめる場とすべきである。財政あか字削減については、他の首のうも同様の考えと思うが、ロンに対するそんけいや防衛力で御世話になつていたり、米あか字削減は自国の景気後退を招きかねない等の事情から面と向つて発言することにちゆうちよがあるが、自分は、今の状況下では、ロンをそんけいするからこそ本当のことを述べ、同時にわが国の責任についても強調した次第である。

5. これに対して、大統領は、減税等今次対策に満足しているとした上で、米国においては、個人、法人減税の結果、むしろ歳入が増えた旨述べつつ、財政あか字は過去半世きのちく積による構造的な問題であるが、本年400億ドル削減する見通しである。1年では無理としても、均こうを目指し、議会にそのための憲法改正もよびかけている。来年も削減努力を行う。この他、政府の規制を4万ページ分撤廃し、今の規制かん和の努力、無だを省く努力を続けていくと述べた。

また、ベーカー財務長官より、財政あか字削減の必要は十分認識しているが、一般に米国の努力の成果は十分には理解されていないのではないか。この4年間に財政あか字のGNP比は6.3%から3.9%に2.4%も下つた、日本は1.8%、独1.4%である、また今年1年で1.8%カットされると補足した。

米に転電した。(了)



# 主管課緊急処理用

北米1

極秘

大政事外儀官  
務務典房  
次次  
臣官官審審長長

大外査  
使察  
研審

總總對文会厚情オ  
括審察人電在儀警史

外報官	審報内際外
文長	一二

参一二旅査移

審地中東  
参北東西  
一

北米長  
審一二保

中南長  
審一二

歐長  
参西洋  
西東  
二

審一二アア  
二二

次審経漁途国  
総経エ国  
二ネ  
一長

参海 審準

経協長  
審政国開無  
参調技有理

条長  
審条協規

国長  
審政経人  
審軍社

科審  
科原

情調長  
審情析調  
審企安

總 番 号 R086019

月 09日

62年 06月 09日

ヴェネチア

本 省

発

着

主 管

北米局長

外 務 大 臣 殿

西 田 大 使

VS II (日米首のう会談一政治)

第114号 極秘 大至急

(限定配布)

往電第110号別電2

1. 総理より、東西関係についてはソ連の出方を注視しつつ西側の結束を維持し、実りあるものとすべきであり、政治宣言が出来れば良いと思つている旨述べたところ、大統領は、自分(レ)も期待していると応えた。

2. 更に、総理より、ベルシヤ湾情勢に関し大統領書簡をいただいたが、右書簡にもあるとおりわが国は軍事協力はできないが、可能な方途を研究したく、詳しくは外相会談で議論させる旨述べたのに対し、大統領は、日本の事情は理解している旨、及び一部の人が行政府のやり方に批判的で、また、不必要に日本に言及しているのは残念である旨応えた。

米に転電した。(了)

06月09日



02 日米首脳会谈



主管課緊急処理用

極秘

大政事外外議官  
務務典房  
次次  
臣官官審審長長

大外査 博  
使察 代  
研審 表

総総対文会厚情オ  
括括察人電在儀警史

外	審報内
報	際外
官	文長 一二

領移 参一二旅査移

審地中東  
参北東西

北米長 審一二保

中南長 審一二

欧 参西ソ洋  
長 西東

近 審一二アア

経 次参経漁途国  
長 総経エ国博  
二ネ

参海 審準

経協長 審政国開無  
参調技有理

条長 審条協規

国 参政経人  
長 参軍社

科 科原  
審

情調長 審情祈調  
審企安

総 番 号 R 0 0 6 0 9 5

主 管

月 14日  
63年 01月 14日

米 国 発  
本 省 着

北米局長

外 務 大 臣 殿

松 永 大 使

日米首のう会談 (その1)

第391号 極秘 大至急

(限定配布)

1. 13日、クケシタ総理とレーガン大統領との間の日米首のう会談はホワイト・ハウスにおいて予定を若干超過する11時30分より13時35分ころの間行われた。

出席者は当方より、宇野大臣、本使、オザワ官房副長官、クリヤマ外務審議官、フジイ北米局長、ワタナベ経済局長、テラダ秘書官、ヤマザキ北米第一課長、通訳 (ニシミヤ)、先方はシュルツ国务長官、ベーカー財務長官、カールッチ国防長官、パウエル安全保障担当補さ官、スプリンケル経済顧問委員長、ベリテイ商務長官、ヤイター米通商代表、リン農務長官、シグール次官補、ケリー補さ官、アンダーソン駐日臨時代理大使、通訳。

2. 冒頭短時間テタ・テートの後 (ノート・テーカーとしてフジイ局長及びケリー補さ官、通訳2名同席)、全体会議、引き続き会食を交えて、会談が行われたところ、概要は以下の別電のとおり。

(1) テタ・テート

(2) 全体会合 (ただし、(3) - (5) を除く)

01月14日



極秘

(3) 米ソ

(4) アジア

(5) ペルシャ湾

(了)



三管課緊急処理用

極秘

大政官	事務次官	典房
臣官官	審審長長	
大外査	使研審	博代表
総務	対文会厚情	オ
括	審察人電在儀	史
外報官	審報内	際外
文長	一二	
領移	参一二旅査移	
審地中東		
参北東西		
北米長	参一二	
中南長		
欧長	参西ソ洋	
近	参一二アア	
経	次参経漁途国	
総経エ国博		
二ネ一		
参海	審準	
経協長	審政国開無	
	参調技有理	
条長	審条協規	
国	参政経人	
長	参軍社	
科審	科原	
情調長	審情析調	
	審企安	

総番号 R006096

主管

月 14日  
63年 01月 14日

米 国 発  
本 省 着

北米局長

外務大臣殿

松永大使

日米首のう会談 (その2: テタ・テート)

第392号 極秘 大至急

(限定配布)

1. 冒頭大統領よりかん迎の辞を述べた上、総理就任時に電話できたことはきんかいであつた。首のう間のふ段の協議は重要であると述べた。

2. 総理より、電話を下さり訪米の御招待をいただいたことを感謝している。また外はさむいが極めてあたたかいかん迎を受け感謝にたえない。当地到着の際のシュルツ長官、ルーズベルトギ典長、ふるい友人であるシグール次官補のかん迎にも深謝したいと述べた。

3. 引続いて総理より、正月てん皇へい下に新年のごあいさつを申上げた際、へい下より貴大統領によりしく伝えて欲しいとお言ばをたまわつたのでお伝えすると述べたのに対し、大統領は謝意を表明しつつてん皇へい下によりしくお伝えいただきたいと述べ、更に、へい下の御健康は如何でしょうか、一時は大変心をいためましたと質問した。

これに対し総理は、元たんお元気に国民の参がをお受けになられ新年早々大変おめでたいことであつたと述べ、大統領はうなずきつつ安心しましたと述べた。



4. 更に総理より、出発前や、ナカソネ前総理と1時間余り話しこんだ。前総理よりは5年間のロン・ヤスの思い出を随分聞かせていただいたが、私も同じような関係を貴大統領との間に持ちたいと願っていると言ったところ、大統領は自分も全く同じ気持ちであるし必ずやそうなると思うと言った、更に総理より緊密な首のう間の個人的関係は責任ある同盟国として役割を果たしていく基礎と考える旨述べた。テートを了した。(了)



北米

主管課緊急処理用

極秘

大政事の儀官	典房
事務次官	審長
臣官官審審長	
大外査	博代表
使研審	
総務対文会厚情オ	
括審察人電在儀警史	
外報官	審報内 際外
文長	一二
領移	参一二旅査移
ア	審地中東
	参北東西
北米長	審一二
中南長	参西ソ洋
欧長	西東
近	審一二アア
経協長	次参経漁途国
	審経ヲ国博
	参海 審準
条長	審政国開無
	参調技有理
国長	審条協規
	参政経人
	参軍社
科審	創原
情調長	審債析調
	審企安

総番号 R006135

主管

月 14日 米 国 発  
63年 01月 14日 本 省 着

北米局長

外務大臣殿 松永 大使

日米首のう会談 (その3. 全体会合)

第393号 極秘 大至急

(限定配布)

1. 大統領より以下の冒頭発言があつた。(11時50分ころ開始)

(1) マンスフィールド大使がこの場にはいないが、同大使は日米関係の増進のため、また駐日米国大使として大変な活やくをしてきている。手術後順調に回復していると承知しており、間もなく職務に復帰されんことを希望している。

(2) 貴総理のご来訪をかん迎し、これをお互いによく知り合う機会としたい。多くの課題 (CHALLENGES) に直面しているが、われわれが力を合わせれば問題は必ずやこく服できよう。両国政府も向う1年間そのように対応して行くべきと思う。最も重要なことは両国民及び全世界に日米が緊密な同盟国として、また、友邦として二国間及びグローバルな諸問題に力を合わせて対処していることを明確に示すことである。

(3) 日本の防衛努力を評価する。この努力は、力こそが最も確かな抑止力との認識を日本が共有していることを示さしている。まさに、力と同盟国の団結がソ連を交渉のテーブルに引きずり出し、成功に結びつけた。日本は、防衛協力及び負担分担の両



面で大きな前進を成しとげており、これが続くことを希望するが、いずれにせよ今次在日米軍労務費負担に関する決定を感謝したい。

2. これに対し総理より次の通り応答した。

(1) マンスフィールド大使の病後回復についてはわれわれとしても一日も早い回復をいのつている。また、日本国民を代表して先の皇太子・同ひ両殿下御訪米の際の米側のおもてなし、特にテニスのお相手を願ったブッシュ副大統領及びシュルツ長官に感謝申し上げる。(「シュ」長官より、われわれが完敗した、シュライバーなどと組まれては勝目がないと述べ、一同バクしよう)。更に、へい下のご健こうについては元たんに国民の前にお元気なすがたを見せられたことをご報告したい。

(2) 次に日米関係に関する基本的考え方を述べたい。

(イ) 今年は東西関係の構ちく、世界経済の運営という二大課題につき西側の対応が試される重要な年であり、このような時にこそ日米は共通の目的に向つて協力する確固たる関係を維持することが重要である。

(ロ) 安定的米ソ関係確立への大統領の努力を西側の一員として強力に支援する。今でもウイリアムスバーグ・サミットで、ナカソネ総理が述べた「西側の一員」ということが強く印象に残っている。種々意見交換しつつ、西側の最も強力なリーダーたる貴大統領を支援してまいりたい。

(ハ) 経済面では、わが国は内需拡大、構造調整、市場開放等果すべき役割を果たす。貴大統領の財政あか字削減、自由貿易よう護の立場を高く評価している。世界のGNPの1/3を占める日米両国の世界経済に対する影響は大きく、今後とも協調して



世界経済の問題に対処して行きたい。

(ニ) 防衛力の整備の方針については外務大臣よりシュルツ、カールツ両長官に説明済みであり、また、カワラ防衛庁長官が近くカールツ長官と会談するので立ち入らないが、日米安保体制けん持が最重要と考えていることを申し述べておきたい。

(ホ) マクロ経済については、前川レポートに取り組み、来年度内需中心の3.8%成長が見込まれる。来年度予算については、公共事業を当初比で20%増やした。輸入拡大、経常黒字縮小の傾向があるが、今後とも努力を継続したい。

(ヘ) G-7合意にある「これ以上のドル下落は逆効果」との点を含む共同発表をまとめたところ、お互いにこれを支持することとしたい。

(ト) わが国金融政策については、経済の持続的成長を達成し、為替相場の安定を図るため、日本銀行は、現在の安定した物価状況の下で、現行の政策スタンスを継続すると確信している。低下しつつある短期金利について今後も努力を続ける。

(チ) ココムの問題については、外相会談で懸念が表明された由だが、その後宇野大臣と相談したところであるが、きちん対応して行きたい。

(リ) その他申し上げたいこともあるが、時間の関係もあり、個別案件は外相会談で扱われたので、ここではふれないこととしたい。

3. これに対する大統領の応答は次の通り。

(1) 日本の力強い成長は極めて印象深い (IMPRESSIVE)。内需拡大をハイレベルで維持することをお願いするとともに、必要であれば補正予算を組んでもこれを維持して下さることを希望する。また、構造調整は、よりきんこうのとれた経



済構造及び持続的成長にとって非常に重要である。

(2) 野党民主党の支配する米国議会には保護主義を求める強い声があり、自分もまた日本としてもこれには反対であると承知しているが、対日貿易あか子の大きさに照らせば、対日アクセスの改善がこうした米国内における保護主義を求める動きに対抗していく上で助けになる。われわれ（米行政府）に不利な問題の例をあげると、その1つは公共事業問題であるが、これについての最近の動きを大いにかん迎する（MOST WELCOME）とともに、右はわれわれの助けになろう。

(3) もう1つは、米農民は自由競争の下で日本の消費者が自由に選択できるという状況を望んでおり、日本の輸入障へきの撤廃を望んでいるとの点である。例示すれば、ぎゅうにく、かんきつである。農業問題は日米のみでなく、世界的な問題であるが、GATT、サミット等で討議し、日米も同一歩調をとることを希望する。みな貿易をわいきよくする補助金、障へきの撤廃に向けて作業をするべきである。こうした総合的な改革からはみな利益を得る。欧州の一部は、少くともこうした問題を話し合うことには合意している。

(4) （大統領にうながされ、シュルツ長官より補足発言）

既に外相会談でも話したが、日本が12品目についてのGATTパネル報告を重視されんことを希望している。）

4. （ここで大統領がちゅう食に遅れると、コックがおこるとじよう談をいいながら、話を打ち切ることを提案したのに対し）総理より、一言付言したいとして以下を発言した。



日本は自由貿易制度で最もおん恵を受けている国であることを想起すべきである。農業業者にも、日本が最大の農業輸入国であるとの点に加え、生産者のみでなく、消費者の立場からも考えるようよびかけている。12品目についてのGATTパネル報告については、2月のGATT理事会できちんと対応する、また、公共事業についてはオザワ官房副長官を中心に検討を行い、日本の案を取りまとめたところ、これを基礎に話を進め、双方にとつて良い結論が得られることを心から期待する。それではちゆう食に移ろう。(12時35分ころ終了)

(以下ワーキング・ランチ、12時45分ころより13時35分まで)

5. 大統領より、科学技術協定については、難しい問題もあるが、お互いに締結に向けて倍旧の努力を指示することとしよう、研究への同程度 (COMPARABLE) のアクセスや特許保護が重要と述べたのに対し、総理より協定の重要性は認識しており、早期に新しいわく組が出来ることを期待。知的所有権の問題の所在については理解していると述べるとともに、NSFに運営をお願いするサイエンス・フェローシップのための予算を6億円確保し米国人研究者の受入れ拡じゆうに努めることにした旨述べた。(なお総理より、外務大臣は、特許庁長官も歴任しており、科学技術に詳しい旨述べたのに対し、「シュ」長官は、宇野大臣は59もの閣僚ポストを経験しているとじよう談を述べた。これを受け、総理より、宇野大臣は防衛庁長官もやつているが、この時は、確か29日間であつた旨しようかいし、一同爆しようした)。

6. 米ソ関係 (追電)

7. アジア (追電)



8. 大統領より、次回お目にかかるのはトロント・サミットの機会であろうが、伝統的に意見が分れた際は日米は同じ側にいるが、今次サミットでも協力して行きたいと述べると共に、ペーカー財務長官に発言を促した。ペーカー長官の発言以下の通り。

(1) 総理が冒頭言われた今年が世界経済にとって重要な年との点に全く同感である。

(2) 米国は、前例のない、かつ常識的な予想を越える62ヶ月連続の経済拡大を、いつかは終ると言われつつ継続している。今年は大統領選挙もあり、野党は経済拡大も終るとの印象を与えようとしているが、正直なところ米経済の実体的基礎は健全であり、政策のよろしきを得ればリセッションを回避することが出来る。世界的リセッション回避のために成長指向政策を続けることが重要である。

(3) 米国の貿易面での調整については、月ベースやドル・ベースでははつきりしないが数量ベースでは調整傾向が明らかになっている。

(4) また共同発表にもあるように財政あか字削減の努力も続ける。

(5) また、マクロ政策面では、日本は応分の負担を行っており、ルーブル合意やジェネチア・サミットでやると言った通り実行されていることを高く評価している。この方向をぜひ続けていただきたい。大統領も触れたように成長どん化のきざしがあれば補正を検討されるとか、あるいは税制改革に際し減税を先行されるとか、前川レポートの実施である。

(6) むしろわれわれの対応が試されている問題は2つある。1つは欧州の低成長で



あり、今1つはNICSの黒字拡大である。何れにせよ先進国間の経済調整は良い進展を見せてきており、米国では3年間で財政あか字1500億ドル削減が決まっているし、欧州の協調利下げもあつた。自分は今後の見通しについて、決してひ観的ではないが、課題には取組まなければならない。

(7) これに対し総理より次の通り述べた。あか字削減に大蔵大臣としてく勞した経験のある者として、先の議会との合意をまとめたペーカー長官にけい意を表したい。また米国のリセッションは世界のリセッションにつながるのであつて、断じてそういうことがあつてはならない。われわれは、サミットやルーブル合意を基礎にお互いやるべきことをやつて行かなければならない。なお、補正予算の件については、本予算自体さえ国会開会前に付き審議されていない状況下ではお話し出来ないとの事情を御理解願いたい(この点、レーガン大統領より、議会との関係については米国も同様である旨コメント)。減税先行については、自分としてはいい話として承つておく。(なお総理より、構造調整の一例として鉄鋼業を挙げながら、ヴェリテイ商務長官のちち親が終戦直後、日本の鉄鋼業にこうけんしたエピソードをしようかいした。)

9. ペルシャ湾(追電)(了)



# 主管課緊急処理用

極秘

力政事	典房
務移	臣官官審審長長
次次	
臣官官審審長長	
大外査	博代表
使研審	
締結対文会厚情オ	
括審察人係在儀警史	
外報官	審報内 際外
文長	一二
領移	審一二旅査移
ア	審地中東 参北東西
北米長	審一二保
中南長	審一二
欧長	参西の洋 西東
近	審一二アア
経	次参経漁途国
長	総経エ国博 二ネ一
	参海 審準
経協長	審政国開無 参調技有理
条長	審条協規
国長	参政経人
科審	参審社 科原
情調長	審情析調 審企安

総 番 号 R006082

主 管

月 14日 米 国 発  
63年 01月 14日 本 省 着

北米局長

外 務 大 臣 殿

松 永 大 使

日米首のう会談 (その4、米ソ関係)

第394号 極秘 大至急

(限定配布)

1. 大統領より、同盟国団結の重要性、ソ連による同盟国分断の試みの失敗に言及しつつ、シュルツ長官に対し対ソ交渉の現状に関し発言を促した。同長官の発言以下の通り。

(1) INF交渉の大きな教訓は、力、友邦間の団結、にんたいとねばり強さ、目標を設定したらそれをけん持し、しかもその目標にグローバルな意味合いを付与することとが如何に大事であるかということにつきる。同じことは軍備管理の他の分野、地域問題 (カンボディア、アフガン、ニカラグア、アンゴラ)、人権問題及び経済問題における対ソ交渉にも当てはまる。日本のいつかんした支持を得たゼロ・オプションにしても、ブレジネフ、アンドロポフ、チエルネンコと拒否し続けられたが、われわれのねばり強い努力があつてゴルバチョフの受け入れるところとなつた。ゴルバチョフがこれを受け入れたのは西側の分断が不可能なこと、われわれが目標をけん持していること、同盟国との緊密な協議が行われていることが分つたからであろうが、同時に何かが変わつたからでもある。共産イデオロギーは何等変りはないが、彼等を取りま



く世界が変わったのである。ゴルバチョフの目にはソ連式のやり方が機能しないことが  
見えてきたのであろう。外の世界に比べ経済がうまく行っていないことも見えてきた  
のであろう。かた越しに中国を見れば同国も変化をとげつつあり、良い成果も挙げて  
いることが分つたからでもあろう。要するに、別の世界では別のやり方が必要である  
ことが分つたのである。こうしたソ連側の変化に対し、われわれは、ソ連がわれわれ  
の利益になることに同意するのであれば、米国の国益、同盟国・友邦の利益になる限  
りにおいて、交渉を進めることにした訳である。交渉の過程では大統領がかつて提案  
したことをゴルバチョフが自らの「提案」として持ち出し、大統領がこれらを次々に  
ひろつてはポケットに収めるとの展開が見られ、こうした様子を見るのはつうかいと  
すら感じた。

(2) 次回米ソ首のう会談はモスクワにおいて恐らく5月の然るべき時期に開かれる  
と予測されるが、日付けは未だセツトされてはいない。われわれは戦略兵器削減交渉  
の完了を試みているが、極めて難しい交渉であり、うまく行くかどうかは何とも言え  
ない。この間米国としては、人権及びアフガンを中心とする地域問題に最大の関心を  
払って行くつもりである。

(3) 対ソ交渉の間、いつかんだパターンで日本との緊密な協議を行つてきたとこ  
ろ、大統領よりこうした協議を継続するようにとの指示が下りている。日本にはわれ  
われの動きをお知らせし、日本の意見をお聞かせ願いたい。また東欧圏も含め、日本  
の持っている情報を共有させていただくなど、有益な協議が行なわれてきていると思  
う。



2. 総理より説明に謝意を表しつつ、以下の通り述べた。

(1) 米ソ首のう会談の成功に心よりしゆく意を表し、地域及び人権問題での進展をき念する。

(2) 今の「シュ」長官のお話しは大変きよう味深く、ここにいる人間だけで一人占めしては申し訳ない程印象深かった。特に共産圏と言えども歴史の変化にはついて行かざるを得ない点及び大統領のかつての提案が先方から改めて出された点をきよう味深く聞いた。御指摘の通りわが国は西側の一員としておりに触れ意見を述べてきた訳であるが、自分の総理就任後、米ソ首のう会談についてロンよりわざわざ電話をいただいたこと、これこそが首のう間の緊密な関係を通ずる同盟国としての関係の基礎であると思う。

3. 大統領より、米側は最も重要な点をソ連から勝ち取った。ソ連に譲歩していたら本日総理にあわせるかおがなかつた。なにしろソ連はINFを日本の近くに100発も残すと言っていたのであるからと述べたのに対し、総理より、グローバル・ゼロの実現に重ねて感謝を表明した。(了)



# 主管課緊急処理用

極秘

大政事外機官  
事務典房  
次次  
臣官官審密長長

大外査 博  
使察審 代表  
使研審

総務対文会厚情オ  
括審察人事主備警史

外 審報内  
報 際外  
官 文長 一二

領移 参一二旅査移

審密  
参東西  
一二

北米長  
審一二  
一二

中南長  
審一二

欧 参西ソ洋  
長 西東  
二

近 審一二アア  
二

経 次参経漁途国  
長 総経エ国博  
二ネ一

参海 審準

審密  
参調技有理

条長 審条協規

国 参政経人  
長 参軍社

科 科原  
密 審情析調  
情調長 審企安

総 番 号 R006097

主 管

月 14日  
63年 01月 14日

米 国 発  
本 省 着

北米局長

外 務 大 臣 殿

松 永 大 使

日米首のう会談 (その5:アジア)

第395号 極秘 大至急

(限定配布)

1. 総理より、ASEANサミットに出席し、20億ドルを下回らぬ基金の創設を表明するとともに、アキノ政権を強く支援すべきとの確信を強めた。マニラの治安が良くない時の訪比であつたが、自らの体験では言われている程ではなかつた。比の安定にはアキノ支援をしていく必要があると述べたところ、大統領は総理の訪比はよろこばしい出来事であつたとした上で、在比米軍基地は日本を含めこの地域の安全保障に極めて重要であり、その存続を希望しているが、反対の声も強い。海をへだててカンラン湾にはソ連が進出していることもあつて、これら基地を維持していく為に日米が一しよになつて何かできれば素晴らしいことであろうと述べた (総理より基地の重要性は承知とコメント)。更に、大統領はASEANが以前にも増して、ソ連ではなくわれわれ寄りになる (ALIGN MORE WITH US) ことを期待していると述べた。

2. 総理より、韓国の大統領選挙後直ちに安倍幹事長を派遣ししゆく意を伝達したところである。来たるソウル・オリンピックは将来の安定の為に良い機会であり、ソ連

01月14日



極秘

も参加を決めた由だが、日米協力してオリンピックを成功へ導くようにしていきたい  
。中国については、おん健なやり方による近代化の努力を支援していきたいと述べた  
。(了)



# 主管課緊急処理用

北米1

極秘

大政事外外務官  
事務次官  
典房  
臣官官審審長長

大外査  
使研審  
博代表

総対文会厚情オ  
指審察人電在儀警史

外報官  
文長  
一二

領設  
卷一二旅査移

ア審地中東  
参北東西  
一

北米長  
審一二保

中南長  
審一二

欧長  
参西ソ洋  
西東  
二

近審一二アア  
二

経次参経漁途国  
総経エ国博  
二ネ一

参海 審準

経協長  
審政国開無  
参調技有理

条長  
審条協規

国参政経人  
長参軍社

科審  
科原

情調長  
審情析調  
審企安

総番号 R006078

主管

月 14日

米 国 発

63年 01月 14日

本 省 着

北米局長

外務大臣殿

松永大使

日米首のう会談 (その6、ベルシャ湾)

第396号 極秘 大至急

(限定配布)

大統領より「ベルシャ湾から帰ってきたばかりなので」としてカールッチ国防長官の発言を促したところ、同長官は次のように述べた。

1. ベルシャ湾においても、確固たる態度をとる (FIRMNESS) との大統領の政策が成果をもたらしつつある。1回目こそ小さな事件もあつたが、以降22回の船団護衛が無事終了している。軍事的にも、情報交換の面でも、かつてない程アラブ諸国とわれわれの関係が良くなっている。

2. 他方、イランは依然攻撃的で、これがアラブ諸国の懸念的となつている。従つてイランに圧力をかけ続けねばならない。高度航行安全施設や国連決議598号のフォローアップ等、日本の果している役割も助けにはなつているが、何といつても最も重要なのは日本の対イラン原油輸入を削減 (CUT DOWN) することである。これはアラブ諸国に感謝されるばかりでなく、情勢変化にもつながりうると思う。(了)

01月14日



~~02~~  
03

米  
国  
西  
サ  
人  
の  
竹  
下  
総  
理  
へ  
の  
表  
敬、  
会  
談



因事務次長  
典房  
臣官官審審長長

因外交使  
使研審  
博代表

因対文会厚情  
括  
審官官在儀警史

因  
官長  
一

因  
長  
参一二旅査移

因  
長  
参東  
参西

因  
長  
参

因  
長  
参

因  
長  
参  
参東

因  
長  
参  
参

因  
長  
参  
参

因  
長  
参  
参

因  
長  
参  
参

因  
長  
参  
参

因  
長  
参  
参

因  
長  
参  
参

因  
長  
参  
参

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の内容に関する照会は検閲班（内線2171、2174）。
3. その他本電の取扱い等に関する照会は調整班（内線3169）に連絡ありたい。

電信写



15-082

総番号 R005446

主管

月 13日

米

国

発

北米 1

63年 01月 13日

本

省

着

外務大臣殿

松永大使

総理訪米（シュルツ國務長官の総理表けい）

第366号 略秘 至急（ゆう先処理）

12日正午より約10分間シュルツ國務長官は、総理到着直後、総理をしゆくしやに表けい訪問したところ概要以下の通り。（当方：マツナガ大使、オザワ官房副長官他、先方：シグール國務次官補代理他同席）

1. 総理より、宇野大臣と自分（総理）は30年前、自民党せい年局長、せい年部長としてピースコアに関心を持っていたとき以来の関係である旨述べたのに対し、「シュ」長官より長年にわたる総理と大臣の関係からしても大臣の日本政府の政策であるとの説明は政府の政策と受け止めて間違いないと確信する旨述べた。

2. また総理よりシグール次官補とはジョウチ大学時代以来の関係であるとしたのに対し、「シュ」長官より以下の通り応えた。

（1）今次御訪米を代表する点と考える。つまり総理は友人に囲まれており、総理はわれわれを、われわれは総理を良く知っている。

（2）総理は新しい極めて重要な責任を負われており、今回首のう会談を通じこのような関係を更に前進させることが出来ると考えわれわれ全ての利益のため今次訪米が成功するよう万全を期したい。

外務省

140910 053 5180 08



注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の内容に関する照会は検閲班（内線2171、2174）。
3. その他本電の取扱い等に関する照会は調整班（内線3169）に連絡ありたい。

秘

## 電信写

(3) 過去数ヶ月、総理が大変前向きで、意義深くかつ重要な多くの措置をとられてきたことを見守ってきた。

3. 上記に対し総理より、「シュ」長官の評価に感謝すると共に25日より再開する国会は今次訪米を国会に報告し、日米関係がわが国外交の基じくであることを立証した旨正式に発言する機会となる旨述べ、出発に当たり野党党首に電話をした際、三党首とも訪米をゆう気付けてくれた旨付言した。

4. 更に総理より、同行者と話した際、ガリオア、エロアのお世話になりユニセフの粉ミルクで育った者が多いことに気付いた旨述べ、若い代議士には宇宙学者のガリレオの類推で「ガリオア」は人物の名前ではないかと言ったものもいたとした。

5. 「シュ」長官より訪米の力強い予定が準備されており、大統領も今次首のう会談もたのしみにしている旨、日米外相会談を通じある程度実質内容も討議したが、すべての準備が万たん整っていると考える旨、及び総理として大統領が重点を置くべきと考える点があれば大統領に伝えたいとした。右に対し総理より謝意を表明するとともに、何としてもロン・ヤス関係に変わるものとしてロン・ノボル間の個人的な親密な関係をじゆ立したい旨述べ、「シュ」長官より、大統領の同様に良好な個人的関係をきずくことをたのしみにしている旨応えた。

6. 総理より、多くの場合「為替レートのタケシタ」とよばれてきたが、訪米後は「タケシタ総理」とよばれるようになりたい旨述べたのに対し、「シュ」長官はわらいながら大統領には首のう会談において為替レートの問題を取り上げぬよう進言する旨応えた。

140910 053 5180 08



注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の内容に関する照会は検閲班（内線2171、2174）。
3. その他本電の取扱い等に関する照会は調整班（内線3169）に連絡ありたい。

## 電信写

7. 最後に「シュ」長官より、宇野大臣とも合意した点として、両者には今次訪米の成功を確保する役割があり、今後の前進へとつながっていくことを確保する責任がある旨、また、総理が滞在中種々の討議をされたいとの希望があればシグール次官補なり自分（自分）なりに要請してもらいたい旨述べ、表けいを了した。

（なお、ワシントン・モニュメントからマディソン・ホテルまでの車中において、「シュ」長官より、今次訪米をこれからの日米関係の基調を設定するものとして、米側も重視しており、レーガン大統領も有益な会談を希望している旨述べ、これに対し、総理より賛同の意を表明した。また、総理より、ナカツネ前総理と安倍幹事長からもくれぐれもよろしくとの「シュ」長官あての伝言を伝えた。）（了）

140910 053 5180 08



北米二

主管課緊急処理用

極秘

大政事外外機官 務務典房 次次 臣官官審審長長	
大外査 使研審	博代表
総総対文会厚情オ 括察人電在機警史	
外報官	審報内 際外
領移長	文長 一二
北米長	参一二旅査移
中南長	審地中東 参北東西
欧長	参西ソ洋 西東
近ア	審一二アア
経	次審経漁途国 総経エ国博 二ネー
経協長	参海 密準
参長	審政国開無 参調技有理
国長	審条協規
科審	参政経人 参軍社
情調長	科原 審情析調 審企安

総 番 号 R005176

主 管

月 13日

米 国 発

63年 01月 13日

本 省 着

経済局長

外 務 大 臣 殿

松 永 大 使

総理訪米（ベーカー財務長官の総理表けい）

北 米 2 極 秘 第 10 号

第358号 極秘 大至急

（限定配布）

12日夕刻、ベーカー財務長官がタケシタ総理を表けい越したところ、蔵相同士だったところの話等、社交的な話題の他、以下の如きやりとりがあつた（先方、マクブァーソン副長官、マルフオード次官補、ダラーラ次官補代理、わが方、本使、ワタナベ経済局長、内海大蔵省国金局長同席、通訳ニシミヤ）。

1. 「ベ」長官より明日の首のう会談はくつろいだ良い会談となろうと述べたのに対し、総理はレーガン大統領との個人的関係の構ちくにも大きな意味がある、財政・金融政策の基本的なポイントには触れる等述べられた。

2. 「ベ」長官より、過去2年の政策協調は大変良い経験であつた。日本の内需拡大の程度に極めて満足している。為替安定にせよ、貿易不均こうせ正にせよ、カギは政策協調の継続にある。

自分の希望を言わせていただければ、税制改革に際しては減税を年初、増税は年度初めというように導入時期をずらして若干なりとも追加的ふようを図つたり、成長にカゲリが出始めたら補正を検討するといったことに好意的配慮を得たい。しかし、い



れにせよ、日本は約束したことは必ず実施しており、極めて満足していると述べたのに対し、総理は増減税の時期をずらすことはかねてより考えてきたことではあるが、税の専門家には様々な意見もあると述べた（「べ」長官より「増税なき減税」ならよかろうとユーモラスに補足）。

3. 総理より、内需拡大策を可能ならしめたのは、NTT株式売却益に加え、プラザ会議の際、貴長官に述べた様に原材料等の輸入面での円高メリットが流通各段階で少しずつ利益増をもたらし、これが結局自然増収につながったこともある。また、インフレがないことが国民をゆう気づけ、こうした経済運営を可能ならしめた。日米関係が深くなると様々な問題も出てくるが、かつて円ドル委でやった様にひんぱんに話し合う方式で一つずつ解決していけると思う。近時の為替レート安定をよろこんでいる。自分の名前「ノボル」にひっかけて「円は上がるが、評判は下がる」という時期もあつたが、それでも総理になつたと述べられた。

4. 「べ」長官より、今回再び日米首のう間でステートメントを出すこととなつたのはよろこばしいとした上で、アジアのNICSはドル・リンクにより円高・ドル安で生じたすき間に進出、米国のあか字の大きな部分を占めるに至っている。アジアのリーダー日本からも、機会をとらえてこれら諸国がいつまでも「開発途上国」ではあり続けられない旨説明していただければ助かると述べたところ、総理は韓国等の財界の友人達には「自分もくるしかつたが、あなたがたもいつか通らねばならぬ道」と言つて間接的に伝えているところだが、ふるい友人からの話しでもあるので、今後とも話題にしやすくなつたと述べられた。（了）



04  
~~03~~  
日  
米  
外  
相  
會  
談



外務省	秘書長
次長	典房
官官審審長	
外査	博代表
使研審	
外交	厚情才
審人	審史
内	
長	一二
審一二旅査移	
田東	
田東西	
長	
田米長	
田南長	審一二
多田洋	
西東	
審一二アア	
次審経済途国	
長	田経エ国博 二ネー
審海	審津
田長	審田国開無 審田技有理
田長	審条協規
田	審政経人
長	審軍社
田審	科原
田長	審情折調 審企安

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の内容に関する照会は検閲班（内線2171、2174）。
3. その他本電の取扱い等に関する照会は調整班（内線3169）に連絡ありたい。

電信写

15-067

総 番 号 R005132  
 月 12日 米 国 発 北 米 1  
 63年 01月 13日 本 省 着  
 外 務 大 臣 殿 松 永 大 使

日米外相会談

第346号 略秘 大至急

日米外相会談は予定通り12日午前9時より10時30分まで国務省にて行なわれたところ、右概要別電の通り。当方同席者、本使、フジイ北米局長、ワタナベ経済局長、サトウ公使、オカモト安保課長、ミヤモト大臣秘書官、ヤブナカ北米二課長、カトウ参事官及び通訳（山下）、先方同席者、アマコスト国務次官、ウオリス国務次官、シグール国務次官補、ローソン次官補代行、クラーク次官補代理、ブリアー日本部長、ダーラム日本部次長及び通訳（イイダ）（了）

外務省

131252 053 5054 01



因 事務 典房  
次次 臣官官書書長長

因 外査 博代  
使研審 表

因 対文 厚情オ  
括 落 警史

因 内  
長 一二

参一 二 旅査移

因 東  
長 東 西

因 米  
長 三 三 三

因 南  
長 三 二

参 二 洋  
四 東

参 二 アア  
二 二

因 次審経漁途国  
長 経エ国博  
二ネ

参海 審準

因 審 国開無  
長 参 技有理

因 審条協規  
長

因 参政経大  
長 参軍社

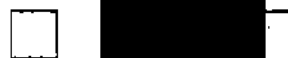
因 科原  
審

因 審情析調  
長 審企安

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の内容に関する照会は検閲班（内線2171、2174）。
3. その他本電の取扱い等に関する照会は調整班（内線3169）に連絡ありたい。

電信写



15-067

総 番 号 R 0 0 5 1 3 4

主 管

月 12 日

米 国 発 北 米 1

63年 01月 13日

本 省 着

外 務 大 臣 殿

松 永 大 使

日米外相会談（総論）

第347号 暗秘 大至急

往電第346号別電1。

1. 冒頭シュルツ長官より以下の通り述べた。

（1）貴大臣の訪米をかん迎する。前任者の方々と緊密な共働関係を持てたことをよるこんであり、貴大臣とも良好かつ強固な個人的関係を維持したい。

（2）前任者との日米外相会談で常を感じたことは、日米関係の広がりとその結果生ずる日米両国のみならず世界経済と自由民主主義世界の安全保障の良好な機能に対する責任であつた。同時に、日米関係の広がりと深まり故に生ずる問題を明らかにし、その解決につとめて来た。残されている問題はあるが、問題を解決する経験も重ねてきた。時にはわれわれ2人で解決出来る問題もあるが、多くの場合他の省庁が管轄する問題である。われわれとしては、他省庁に問題の解決をあきらめよう働きかけることである。

（3）過去5年半にわたる経験に照らし、外相間の努力で出来ることはけい視するものではないが、かぎは両国首のうが効果的に協力して働ける関係を維持することと考える。今次総理訪米の意義もそこにあり、われわれは極めて重視している。総理訪米

外 務 省

131257 053 5055 01



## 注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の内容に関する照会は検閲班（内線2171、2174）。
3. その他本電の取扱い等に関する照会は調整班（内線3169）に連絡ありたい。

## 電信写

が日米双方の利益のためにも大成功であつて欲しい。2ヶ月半という短い間に新内閣は多くの前向きな措置を取られた。水平線上に問題は見えているが、われわれで日米首のう会談の結果が前向きなものとなることを確保したい。

(5) かかる建設的精しんをもつて総理到着を前に外相会談を開催する機会を得たことを多とする。

2. 上記に対し宇野大臣より概要以下の通り答えた。

(1) あたたかい御配慮に感謝する。昨年訪米招待をいただいたおりにには臨時国会開会直前でありこれをお受け出来なかつたが、首のう会談の前日貴長官と会い意見交換出来てうれしい。

(2) まず、皇太子・同ひ両殿下御訪米の際、異例のかん迎をいただいたことに謝意を表明する。両殿下におかれても、日米親善のため訪米かん迎に感めいを受けておられた。(「シ」長官より、御訪米の際一つだけ問題があつたと前置きの上、皇太子殿下がシュライバーと組み副大統領と組んだ長官を完ぶなきまでに打ち破つたことだと応答。)

(3) 今次首のう会談では、日米の新しい関係を更に強く構ちくすることが目的と考える。「ロン・ヤス関係」が過去5年間日米関係を強固なものにしてきたが自分達も中ソ根路線を継承、強化したい。タケシタ総理が中ソ根前総理に指名された際大統領より電話をいただき「ロン・ノボル関係」を創ろうと提案されたことをタケシタ総理は多とし、大切にしたいと考えておられる。貴長官御指摘の通り今次総理訪米は日米の新しい関係をきずく上でぜひとも成功させなければならないとわれわれも総理自身



注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の内容に関する照会は検閲班（内線2171、2174）。
3. その他本電の取扱い等に関する照会は調整班（内線3169）に連絡ありたい。

秘

## 電信写

も考えている。

（4）昨年貴長官が全閣僚の前に「日米関係を全体としてとらえるべき」旨発言されたことを多としている。日米関係の一層の強化のため引き続き貴長官の努力を期待し、緊密な協力関係を維持したい。

（5）先日もハウ英外相と、外務大臣は時に大蔵大臣、時には農林大臣として語り合わねばならない立場にあり、2国間関係の総らん者であるとの話をしたが、貴長官とも経済を含む日米関係の総らん者として意見交換をしたい。（了）

131257 053 5055 01



因 事務次長 奥野  
因 官官審長

因 外査使 研審  
因 文 情才

因 文 情才  
因 文 情才

因 文 情才  
因 文 情才

因 文 情才  
因 文 情才

因 文 情才  
因 文 情才

因 文 情才  
因 文 情才

因 文 情才  
因 文 情才

因 文 情才  
因 文 情才

因 文 情才  
因 文 情才

因 文 情才  
因 文 情才

因 文 情才  
因 文 情才

因 文 情才  
因 文 情才

因 文 情才  
因 文 情才

因 文 情才  
因 文 情才

因 文 情才  
因 文 情才

因 文 情才  
因 文 情才

因 文 情才  
因 文 情才

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の内容に関する照会は検閲班（内線2171、2174）。
3. その他本電の取扱い等に関する照会は調整班（内線3169）に連絡ありたい。

電信写

15-067

総 番 号 R005131

主 管

月 12日

米

国

発

北 米 1

63年 01月 13日

本

省

着

外 務 大 臣 殿

松 永 大 使

日米外相会談（米ソ関係等）

第348号 略秘 大至急

往電第346号別電2.

1. 宇野大臣より以下の通り発言した。

(1) 昨年12月8日、米ソ首のう会談に際しINF条約が署名され、グローバル・ゼロが実現する運びとなつたことは大きな成果であり、右をもたらしした貴長官の決断と準備に心からのけい意を表する。

(2) 今後、軍備管理、人権、地域及び二国間の各問題につき、特に重要なSTARTを進めるにあたり、引続き十分西側諸国と協議・協力願いたく、日本も引続き米の努力を支援しその成功をいのつている。

(3) INFグローバル・ゼロをかん迎するが、同時に日本としてはソ連の動き、太平洋地域への関心と「徴しよう外交」に懸念を有している。（「シ」長官より、ソ連は「徴しよう爆撃機」で日本領空を侵犯したが、日本がこれに対し「徴しよう警告射撃」を行つたのは良いことだとコメント。）

対ソ関係が新段階に入つたことは事実だが、引続き日米が協調してソ連に対処することが重要だと考える。

外 務 省

131319 053 5057 01



注意

1. 本電の取扱いには慎重を期せられたい。
2. 本電の内容に関する照会は検閲班（内線2171、2174）。
3. その他本電の取扱い等に関する照会は調整班（内線3169）に連絡ありたい。

秘

## 電信写

2. 上記に対し「シ」長官より以下の通り応えた。

（1）INF交渉を通じ得た根本的教訓は、こちら側が強い立場を維持し、安全保障を強化するための措置を実際にとる意思がある時にのみ交渉の進展を見ることが出来ることである。自由主義諸国が結束し、米国がパーシング、GLCMを配備する意図を示し、欧州諸国がその配備を受け入れて、初めてソ連は交渉に応じてきた。

米国のアプローチは欧州のみでなく、グローバルなものであつた。

（2）日本からの支援は力強いものであつた。

新内閣が最優先事項として最初に取り組んだのが安全保障面であつたことは極めて良かった。これはソ連に対しても良いメッセージであつた。

今後の対ソ交渉にあたり、かかる協力が続くことを期待する。

（3）米ソ関係を進めるにあたり、従来から日米間で緊密な協議と意見交換を行い、進ちよく状況を通報して来たが、今後更に米ソ関係を進めるに際し右努力を続けたい。同時に、日米間の緊密な協議が行われている事実を内外に伝えることも重要である。

。（了）

131319 053 5057 01



注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の内容に関する照会は検閲班（内線2171、2174）。
3. その他本電の取扱い等に関する照会は調整班（内線3169）に連絡ありたい。

電信写

15-067

総 番 号 R005135

主 體

月 12日

米 国 発

北米 1

63年 01月 13日

本省著

外務大臣殿

松 永 大 使

日米外相会談（安保関係）

第349号 暗秘 大至急

往電第346号別電3.

1. 宇野大臣より次の通り説明。

(1) 88年度予算は全体として1.2%の伸びであつたが、防衛費は5.2%と高い伸びを確保した。

(2) 在日米軍経費については1990年度までに特別協定が対象としている諸手当を全額負担する方針を決めた。国会が始まるが特別協定の改正を提出したい。今次外相会談を改正交渉の開始点としたい。

2. 上記大臣説明を受け「シュ」長官より次の通り述べた。

防衛予算ののびは、自分はよく承知しており感めいを受けている。また在日米軍経費の負担増大は貴国政府の実質的かつ重要な措置としてかん迎する。これらの問題についてタケシタ総理が既に実績をあげられたことに注目している。(了)

131247 053 5053 01



調長 審企安

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の内容に関する照会は検閲班（内線2171, 2174）。
3. その他本電の取扱い等に関する照会は調整班（内線3169）に連絡ありたい。

15-067

主 管

北米 1

本 省 清

松 永 大 使

日米外相会談（原子力協定、日米漁業問題）

第350号 暗秘 大至急

往甯第346号別甯4.

## 1. 原子力協定

宇野大臣より、政府間で良い協定が出来たが、米議会の反対の声を懸念しており、早期発効確保についての米国政府の努力を期待する旨述べたところ、「シュ」長官より、努力する（WE WILL DO）旨応えた。

## 2. 日米漁業（漁獲割当）

(1) 宇野大臣より北太平洋漁業管理委員会が外国割当てゼロとしたが、日米漁業協定が延長されたこともあり、対日漁獲割当ての費長官の配慮を期待する旨述べた。

(2) 上記に対し「シェ」長官は(半分じよう談で)、承知したが、くじらにのみ込まれめよう注意されたい旨応答した。

これに対し、宇野大臣よりは、調査ほげいについてはJWCのわく内で誠実に対処している旨答えた。(7)

外務省

131241 053 5052 01



1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の内容に関する照会は校閲班（内線2171、2174）。
3. その他本電の取扱い等に関する照会は調整班（内線3169）に連絡ありたい。

15-067

主 腎

北米 1

本 省 著

松 永 大 使

第351号 暗秘 大至急

往電第346号別電5.

1. 宇野大臣より概要以下の通り述べた。

(1) 大臣就任後、日本が安保理常任国であつたことをふまえ、イ・イ両国に対し、

因連に特使を派遣するよう要請し、また、イラン外相に会いたい旨申し入れ、ペラヤ  
テイ外相訪日が実現した。「ベ」外相に対し決議598をちゅう実に守るべき旨、ま  
た、もしイランが決議598の受入に時間かせぎをし、安保理が、第2段決議案に進  
まざるを得ない場合には、日本もイランをかばいきれない旨伝えた。

(2) 米国の対イラン経済措置については、わが国も右をそこなめよう努力しており、石油輸入は従来実績の下限とするよう業界を指導し、これが守られている。(「シュ」長官より、現在石油はだぶついており、価格も値引きされている旨発言。これに対し宇野大臣より、その点も配慮している旨答えた。)

(3)「ベ」外相と会い感じたことは、もう少し対話が必要であることであり、禁輸の国境決着が検討されているが、同時に対話も必要である点である。

2. 上記を受け「シュ」長官より、イランが「対話」をもつて決議598受だくに代

外 務 省

131333 053 5059 02



注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の内容に関する照会は検閲班（内線2171、2174）。
3. その他本電の取扱い等に関する照会は調整班（内線3169）に連絡ありたい。

秘

## 電信写

えるつもりであれば、実質的「対話」を進めるには第2段決議採択が必要と考える旨述べた。（了）

131333 053 5059 02



④ 事務次長 奥野  
臣官官審審長長

④ 外務省 代表  
使研審

④ 対文 情報才  
括 審 人 審 史

④ 内  
官 長 一 二

官 長 参一 二 旅査移

長 参一 二 旅査移

長 参一 二 旅査移

長 参一 二 旅査移

長 参一 二 旅査移

長 参一 二 旅査移

長 参一 二 旅査移

長 参一 二 旅査移

長 参一 二 旅査移

長 参一 二 旅査移

長 参一 二 旅査移

長 参一 二 旅査移

長 参一 二 旅査移

長 参一 二 旅査移

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の内容に関する照会は検閲班（内線2171、2174）。
3. その他本電の取扱い等に関する照会は調整班（内線3169）に連絡ありたい。

電信写



15-067

総 番 号 R005129

主 管

月 12日

米

国

発

北 米 1

63年 01月 13日

本

省

着

外 務 大 臣 殿

松 永 大 使

日米外相会談（アジア情勢及び中東）

第352号 略秘 大至急

往電第346号別電6

1. ウノ大臣より、中国は今回の人事移動で安定するであろう旨、及びおだやかな近代化はかん迎すべきものであり、対中協力を進めたく、その際引き続き米国と協力して行きたい旨述べた。

2. 引続き、ウノ大臣より、韓国において新大統領が選出されたところ、民主主義の強化を通じ経済的にも安定することを期待する。そのためにもソウル・オリンピックの成功はぜひ必要である。日・米間で協力して行きたい旨述べた。

3. また、ウノ大臣より中東和平に関し公正、えい統的かつ包括的和平が急務であり、日本としてはMFOへの資金協力及びUNDPを通じての西がん、ガザ開発援助を米年度予算に盛り込んだ旨述べた。（了）

外 務 省

131328 053 5058 01



1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の内容に関する照会は検閲班（内線2171、2174）
3. その他本電の取扱い等に関する照会は調整班（内線3169）に連絡ありたい。

12-072

主 管

北米 2

本省省

松 永 大 使

第353号 暗秘 大至急

12日の外相会談のうち経済関係部分次の通り。

1. 宇野外務大臣より次の通り発言した。

(1) 貴長官は、マクロ経済政策を重視してきていると承知。これまでのわが国の努力により、日本経済は相当なパフォーマンスを示してきている。即ち、87年度は内需成長を中心に3.7%、88年度も同様3.8%の成長が見込まれており、88年度の内訳については、内需4.7%、外需-1.0%の見通し。

經常収支も縮小傾向にあり、しおの流れは変わってきている。今後とも内需拡大、構造調整、市場アクセスの一層の改善に全力をつくす考え。

(2) 昨年10月の「暗黒の月よう日」は日・米・欧の経済が相互に依存し合っていることを再認識させるものであつた。主要国、特に日米両国の協調が不可欠。また、この関連で為替相場の安定が極めて重要。

(3) また、米側におかれては、財政あか字削減、輸出競争力強化、保護主義防圧に引き続き努力願いたい。

外務省

131307 054 1572 04



注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。  
2. 本電の内容に関する照会は検閲班（内線2171、2174）。  
3. その他本電の取扱い等に関する照会は調整班（内線3169）に連絡ありたい。

秘

電信写

(4) 今後とも諸懸案については、共同作業により解決にあたっていきたい。

(5) また、保護主義防圧との関連では、ウルグアイ・ラウンドの推進が重要と考えており、先般自分もガット総会に出席した次第であり、今後ともラウンド推進に向けて貴国と協力していきたい。

2. シュルツ長官より以下の通り発言。

(1) 日本の最近の経済パフォーマンスをかん迎。きよ大な対外黒字は、日本及び世界全体にとって不安定な要因であり、その修正措置はかん迎すべきことである。

(2) 米国の貿易あか字については、数量ベースでは減少傾向にあるが、価格面では為替レートの変動により未だ改善傾向は出てきていない。しかしながら、数量面での変化はそのうちに価格面でも現われてくるはずであり、自分のみるところでは、かなり大はばなあか字縮小が期待できるのではないか。

ただし、この米国の貿易あか字の削減は、これまで米国市場への輸出に依存してきた多くの国々に影響を与えること必至であり、これらの国がうまく対応しうるかどうか自分は懸念を有している。その関連で日本の動きは日本のみならず世界にとつても良いことである。

(3) 米国の財政あか字についても相当の削減を期待している。米国の財政あか字は、一般政府ベースでみると、OECDメンバー国の平均よりも低い点も指摘したい。

(4) 保護主義に対しては、大統領も自分も断固反対する決意である。保護主義は米国自身にとつても望ましくないものであり、議会への説得を大いにやつていきたい。

外務省

131307 054 1572 04



## 注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の内容に関する照会は検閲班（内線2171、2174）。
3. その他本電の取扱い等に関する照会は調整班（内線3169）に連絡ありたい。

## 電信写

なお、先般の株価暴落は保護主義論者に相当ひや水をかけた効果があつた。

（5）黒字国たる日本が引き続き市場開放にじん力することは重要なことである。日米二国間でこれまで多くの問題を解決してきた。現在直面している問題についても引き続き努力願いたく、その関連で以下の4点を指摘したい。

（イ）ガット12品目についての日本の対応

（ロ）大型公共事業への参入問題

（ハ）ココム対象品目のソ連圏への流出規制

○この問題については法律改正をかん迎するが、その実施面について重大な関心を有している。

（ニ）ウルグアイ・ラウンドの進展

○この関係で農業補助の問題を重視しており、日米欧の補助総額は年間1500億ドルにも達している。米国も大いに問題があるが、各国が努力する必要がある。全てウルグアイ・ラウンドのテーブルには乗せるべきであり、日本のコメも乗せられると了解している。

3. 宇野大臣より以下の通り応答。

（1）12品目問題については2月の理事会できちんとした対応をする考え。

（2）公共事業問題については日本の制度は内外無差別であるが、実績がないと入れないという面もあり、外国企業の参入を容易にすべく検討し、昨日、米政府に提案した次第。同提案をベースに前向きに話し合い、解決がみられることを希望。（この点に関しシュルツ長官より米側も協議に応じる用意がもち論あり、早期に解決を目指し

131307 054 1572 04



注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の内容に関する照会は検閲班（内線2171、2174）。
3. その他本電の取扱い等に関する照会は調整班（内線3169）に連絡ありたい。

秘

## 電信写

たい旨述べた。）

（3）ココム問題については、重要性を認識しており、規制強化策をとつた次第。その中には外務省の担当室の設置、通産省の人員増も含まれている。この関連で東シバ制裁が露出法案において盛り込まれたことはいかんであり、ココムでの協力にもマイナスであることを指摘したい（これに対しシュルツ長官より重ねて法律の実施面を注意深く見て欲しく、再発防止のため引き続き圧力をかけて欲しい。というのものいろんな情報もあり、実施面で必ずしもじゅう分な措置がとられていないと思われるフシがあるからであると述べた。）。

4. 本大臣より途上国との問題につき200億ドルのかん流計画の実施状況及びODA予算につき88年度では6.5%増、7010億円計上した旨を説明。

これに対しシュルツ長官より、（1）無償援助の増大、（2）アンタイド援助の増大、（3）経済協力面での日米協調の3点をお願いしたい旨述べた。

これに対し本大臣より、200億ドルのかん流計画はすべてアンタイドであり、また、アフリカ援助として5億ドルの無償援助を実施する計画。

また、ラ米を訪問し、40億ドルのかん流についても具体的に話し合いたいと考える旨説明した。

5. 本大臣より半導体につき対日制裁措置の解除を要望、これに対しシュルツ長官より数字のレビューを引き続き行い、そのレビューに従つた行動をとるつもりと応答。

（了）

131307 054 1572 04



主管課緊急処理用

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の内容に関する照会は横岡班（内線2171、2174）。
3. その他本電の取扱い等に関する照会は調整班（内線3169）に連絡ありたい。

電信写

極秘

総番号 R105914

主管

月 20日

ト ロ ント 発

北 米 1

63年 6月 21日

本 省 着

外務大臣殿

野口 総領事

日米首のう会談

第630号 極秘 大至急

20日、科技協定署名に引き続き、日米首のう会談が行われたところ概要以下のとおり。（同席者米側：シュルツ国务長官、ベーカー財務長官、デュバースタイン大統領首席補さ官代行、パウエル国家安全保障担当補さ官、フィッツウォーター報道官、ウォリス国务次官、シングル国务次官補、ケリー大統領特別補さ官、通訳イイダ。日本側：宇野大臣、ミヤザワ大蔵大臣、タムラ通産大臣、マツナガ大使、官房副長官、北村外審、アリマ局長、テラダ秘書官、通訳ニシミヤ。）

（レーガン大統領）大勢人はいるが、やはり「ノボル」とよばせていただきたい。ロンドン以来かくも早く再会できうれしい。またこれまでのサミットでの討議における御助力を感謝している。ぎゅうにく・かんきつ問題が決着したことは、きんかいにたえない。貴総理が困難な決定をされた決意をかん迎する。これは開かれた貿易体制及び日米関係の重要性に思いを致してのことだと考える。また、日本のODAを2倍以上にするとの決定は途上国の安定に寄与し、われわれ全体の利益にもなる。

（総理）ロンドンでは30分もの貴重な時間を割いていただき、米ソ首のう会談につきお話しいただいたことに心から感謝する。ただ今科技協定に署名し、大変感激した。1月の首のう会談以来三つの重要案件つまり、公共事業・科技協定・ぎゅうにく・かんきつについて、これらを日米の共同作業で解決できたことは大変なよろこびである。ODAへの評価をいただいたが、わが国は1946年から51年の6年間にガリオア・エロア等に基づき15億ドルの援助をいただいた。右はこの6年間の日本のGNPの4%にひつ敵する大変な援助であつた。そういう時代があつたことに思いを致しつつ今日わが国が世界に果たすべき役割を自覚している次第である。なお、本日同席のわが方スタッフの中にもガリオア・エロアあるいはフルブライトのおん恵を得たものがあることを申し添えたい。私も「ロン」とよばせていただくが、ロンはINFをはじめ



## 電信写

としていく多のい業を達成したのみならず、日本の最も親しい友人としてわれわれをサポートしてくれた。心から感謝している。職を離れられた後、ゼ非御夫妻で日本にお招き致したく、「ヤス」夫妻とともにかん待したい。

(レーガン大統領) 自分としてもゼ非これをお受けできることを希望する。今の段階で職を去った後のことはなかなか決められないことは御理解願いたい。一方、信じて欲しいが、この心あたたまる御招待を受けるべく最善の努力をすることは今からでも申し上げられる。

(総理) この段階で御招待することについてはまよいもあつたが、「ロン」とよびかけていることで申し上げた次第である。

(レーガン大統領) 本当にありがとう。両国間では防衛につき双方に利益となるけんちよな動きがある。また、日本は、途上国に対しかん大な支援をされている。この関連で対比支援につきこれが同国の民主主義強化につながるものとして御協力を期待する。

(総理) ソウル・オリンピックに関しお願いがある。各国選手の8割が日本を通過し、あるいは日本で練習してソウルに赴く。何としても、このオリンピックは成功させねばならない。テロ対策を含め日本も協力しているが、オリンピック成功のための米国の協力をを期待する。本件について出発前にノテウ大統領と電話連絡をし、頼まれた事である。

(レーガン大統領) 「ノ」大統領に、米国があらゆる形で協力する旨保障すると述べていたことを伝えていただきたい。オリンピックの成功は極めて重要であり、また、テロ・ぼう害の計画があればこれを未然にそ止しなければならない。宇野大臣が中東訪問されること、就中初めて閣僚としてイスラエルを訪問されることを高く評価する。中東和平のためには様々な努力が必要であり、日本のより活発な役割は多いにかん迎する。

(総理) 御発言に感謝する。アキノ大統領に対しても対比支援に関する大統領の御発言を機会をみて伝達させていただきたい。

米に転電した。

お見込により関係公館に転電願いたい。(了)